

令和6年度

# 区長と語る会結果報告書

東京都台東区



この報告書は令和6年度に開催いたしました「区長と語る会」での発言の要旨をまとめたものです。

「区長と語る会」は、区長が直接区民の皆様からご意見・ご要望等をお聴きし、貴重なご意見として、区政に反映させることを目的に開催しております。

今年度は、地区町会連合会の皆様や各中学校の生徒代表の皆様、青年のご意見として『二十歳の集い実行委員会』の皆様、また、人生において様々な転換期を迎える20代から40代の区民の皆様との語る会を開催いたしました。

いただきましたご意見・ご提案等につきましては、直ちに担当部署に報告し、可能なものは実施に向け、課題につきましては関係機関と解決に向け、取り組んでまいります。

最後に、語る会の開催にあたりご協力をいただきました皆様に、心から感謝申し上げます。

令和7年3月

台東区総務部 広報課

## 「区長と語る会」開催日及び出席人数

対 象	開 催 日	会 場	出席人数
浅草橋地区町会連合会	7月 5日 (金)	浅草橋区民館	12名
馬道地区町会連合会	7月 5日 (金)	馬道区民館	21名
竹町地区町会連合会	7月 9日 (火)	台東一丁目区民館	13名
谷中地区町会連合会	9月 6日 (金)	谷中区民館	19名
金杉地区町会連合会	9月 6日 (金)	金杉区民館	14名
入谷地区町会連合会	9月 9日 (月)	入谷区民館	19名
上野地区町会連合会	9月10日 (火)	上野区民館	24名
区立中学校 (中学生)	10月 6日 (日)	区役所庁議室	14名
二十歳の集い 実行委員会	10月29日 (火)	区役所庁議室	5名
浅草寿地区町会連合会	11月 8日 (金)	寿区民館	27名
雷門地区町会連合会	11月11日 (月)	雷門区民館	23名
清川地区町会連合会	11月13日 (水)	清川区民館	19名
区町会連合会女性部	11月18日 (月)	区役所1001会議室	31名
東上野地区町会連合会	12月 6日 (金)	東上野区民館	17名
20～40代の区民	2月20日 (木)	(オンライン開催)	12名
区立中学校 (立志式に携わる中学生)	3月 9日 (日)	区役所1001会議室	21名
出席人数合計		291名	

## 目 次

### 「台東区町会連合会との語る会」

#### 《浅草橋地区町会連合会》

- ◇大規模災害時における災害弱者の避難について ..... 1
- ◇古い共同アンテナケーブルの撤去について ..... 2
- ◇ヒューリック浅草橋ビル前の放置自転車について ..... 3
- ◇隅田川親水テラスへのスロープ設置について ..... 4

#### 《馬道地区町会連合会》

- ◇ごみの分別回収について ..... 5
- ◇銭湯について ..... 6
- ◇旧竜泉中学校跡地の福祉施設について ..... 7
- ◇令和7年の大河ドラマについて ..... 8

#### 《竹町地区町会連合会》

- ◇町会活動の支援強化について ..... 9
- ◇「PayPayで台東区を応援しよう」について ..... 10

◇御徒町駅施設について	10
-------------	----

### 《谷中地区町会連合会》

◇「子ども広場」を「みんなの広場」とする住民からの切なる願い	11
--------------------------------	----

◇災害時のペットの避難場所について	12
-------------------	----

◇町会内掲示板の更新または改造について	13
---------------------	----

◇掲示板の新設のお願い	13
-------------	----

◇被災時の瓦礫置き場、遺体置き場について	14
----------------------	----

◇災害時における準備のための備蓄倉庫設置について	15
--------------------------	----

### 《金杉地区町会連合会》

◇台東区の出生率について	17
--------------	----

◇国会議員の政治資金問題に関連して	18
-------------------	----

◇教員不足解消について	18
-------------	----

◇避難所に女性の防災職員配置を	19
-----------------	----

### 《入谷地区町会連合会》

◇災害時におけるインバウンド救済	21
◇消滅可能性自治体にならないために	22
◇区立幼稚園の在り方について	23
◇働き方改革について	24

### 《上野地区町会連合会》

◇空き家対策について	25
◇放置自転車について	26
◇PFASについて	26
◇歴史的建造物の保護について	27

### 《浅草寿地区町会連合会》

◇江戸通り沿いの街路樹緑地帯について	29
◇町会で統一ドメインによるアドレスの運用を	30
◇道路側溝蓋について	30

◇ペットの飼い主のマナー向上について	31
--------------------	----

◇ごみ収集時間の公平な設定を	32
----------------	----

### 《雷門地区町会連合会》

◇町会内のことについて	33
-------------	----

◇区役所の自転車について	34
--------------	----

◇町会掲示板について	34
------------	----

◇将来の展望について	35
------------	----

◇健康推進委員の活動費について	35
-----------------	----

◇雷門通り実証実験について	36
---------------	----

### 《清川地区町会連合会》

◇旧東京都人権プラザ跡地について	37
------------------	----

◇町会掲示板について	38
------------	----

◇町会掲示板のデジタル化について	38
------------------	----

◇地域の子供たちが花火を楽しめるような公園の使用について	39
------------------------------	----

## 《東上野地区町会連合会》

- ◇「暮らしのしおり わたしの便利帳」の作成目的について ..... 41
- ◇民有灯補助金について ..... 42
- ◇民泊事業者と宿泊施設に宿泊する旅行者のごみ処理に対するモラルと秩序 ..... 42
- ◇町屋斎場等の火葬場併設民営斎場の費用高騰に対する公的補助および対策について .. 43

## 「台東区町会連合会女性部との語る会」

- ◇西町公園のごみ箱について ..... 45
- ◇ごみ問題について ..... 46
- ◇浅草橋駅東口および江戸通り周辺の駐輪場設置について ..... 46
- ◇町会主催の花火大会について ..... 47
- ◇災害時のトイレ問題について ..... 47
- ◇歩道をふさぐ植木鉢や自転車について ..... 48

## 「中学生との語る会」

- ◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」 ..... 49

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	50
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	50
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	51
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	52
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	52
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	53
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	54
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	55
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	55
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	56
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	57
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	58
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	59

## 「二十歳の集い実行委員会との語る会」

◇上野周辺の駐輪について	61
◇区の施設の充実性について	62
◇台東区の新しい観光事業について	63
◇台東区の未来像について	64
◇選挙の投票を促す手紙について	64

## 「20～40代の区民との語る会」

◇外国人観光客向けの防災対策について	65
◇少子化対策について	66
◇学校の建替え工事に伴う子供の運動不足への影響について	67
◇学校給食・保育園入園の選考基準・避難所について	68
◇子育て支援について	69
◇子育てに協力的な区内企業に対する政策について	70
◇西町公園について	71

## 「立志式に携わる中学生との語る会」

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	73
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	74
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	74
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	75
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	75
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	76
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	76
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	77
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	77
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	78
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	78
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	79

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	79
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	80
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	80
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	81
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	81
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	82
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	82
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	83
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	83

- ・この報告書は「区長と語る会」における質問と回答の要旨を記載いたしました。
- ・町会名や肩書きは「区長と語る会」開催時のものです。
- ・（※）は「区長と語る会」開催後の経過報告および補足事項を記載いたしました。
- ・対応の表示内容は以下のとおりです。

対応	実施済	対応中	今後対応	検討	他機関へ 要望	課題あり	事業説明
	◎	○	◇	☆	●	△	—

## 「台東区町会連合会との語る会」

### 《 浅草橋地区町会連合会 》

日時：7月5日（金） 午前10時から（会 場：浅草橋区民館）

#### ◇大規模災害時における災害弱者の避難について

質問	回答	対応
<p>大規模災害時における、災害弱者に対する対応について伺います。</p> <p>身体的不自由のある方、知的障害のある方等の避難所への避難方法、および避難所での対応はどのようにお考えでしょうか。またそのような方の特定避難所（福祉避難所）の設定等は検討していらっしゃいますでしょうか。</p>	<p>区では高齢者、障害者を対象に、避難行動要支援者名簿や個別支援計画を作成し、町会や近隣の方に、発災時の安否確認や避難同行などの支援をお願いしています。</p> <p>避難所では、要配慮者スペースを設置するとともに、共助の考えに基づき、避難所運営委員会を中心に生活等を支援していただきます。</p> <p>また、現在、区は特別養護老人ホームなど13か所の福祉施設と災害時協定を締結し、発災時には二次避難所として、避難所での生活が困難である方を受け入れていただきます。受入れ人数に限りがあることから、区が緊急性、必要性を考慮して入所対象者を判断いたします。</p> <p>今後も要配慮の方が災害時にも安心して生活できるように、支援体制の構築に努めてまいります。</p>	—

◇古い共同アンテナケーブルの撤去について

質問	回答	対応
<p>過去に設置された共同アンテナケーブルが、東京スカイツリーができたことで不要になり、老朽化したまま放置されています。</p> <p>景観を損なうだけでなく、近年多くなっている風水害時等に非常に危険であると感じています。区で撤去していただけないでしょうか。</p> <p>また、元々電信柱に縛り付けられていたものが、強雨の影響で区道に垂れ下がっているものもあります。</p>	<p>街中には様々な引込線があり、中には現在使われていないものもありますが、それらは設置者や加入者のものになります。</p> <p>そのため、それらの撤去は設置者等の意思によって行われるものであり、個人や事業者の所有物を区で撤去することは難しいと考えています。</p> <p>また、区道に落ちてしまっているケーブルについては、早急に対応を検討し、連絡させていただきます。</p> <p>※令和6年7月、関係機関にて対応を行い、質問者にその旨をお伝えしました。(道路管理課)</p>	<p>—</p>

◇ヒューリック浅草橋ビル前の放置自転車について

質問	回答	対応
<p>浅草橋駅近くのヒューリック浅草橋ビル東側の歩道に、違法駐輪が多くて困っています。</p> <p>ヒューリックの地下には有料の駐輪場がありますが、歩道に置いたままにしている路上駐輪が後を絶たず、ここ2、3年は特に目に余る状況です。公共空間を埋め尽くす放置自転車は、まちの美観を損ねるだけでなく、一般の歩行者をはじめ、車いすの方や視覚障害の方にとっては大きな障害となり、大変危険です。</p> <p>先日、浅草橋紅白マロニエまつりが開催されましたが、パレードを行う道路沿いに早朝から20台以上の放置自転車が置かれており、実行委員でおまつり用の駐輪所に移動し、終了後に元に戻しました。</p> <p>ヒューリックビル前の撤去状況はどのようになっていますか。また今後、違法駐輪対策を強化していただくようお願いいたします。</p>	<p>ご指摘のヒューリック浅草橋ビル東側の歩道には、駅の通勤・通学利用や近隣の地域利用と思われる自転車が、路上に駐輪されている状況があることは、区としても認識をしています。</p> <p>浅草橋駅付近にはヒューリック浅草橋ビル駐輪場が整備されているため、自転車利用者はこちらを利用させていただくよう願っています。しかし、放置自転車がなかなか改善されないため、車いすの方や視覚障害者の方をはじめ、歩行者にご迷惑をおかけしています。</p> <p>このような状況が続いていること、また今回のご意見を踏まえて、事前にこの周辺の撤去を優先的に進める旨の周知用看板を設置し、6月から即日撤去を含めた対応を開始しました。</p> <p>今後も具体的な実施箇所等をご相談させていただきながら、必要な対応を図ってまいります。</p>	<p>○</p>

◇隅田川親水テラスへのスロープ設置について

質問	回答	対応
<p>令和3年度に始まった「浅草橋駅周辺まちづくり勉強会」はすでに12回開かれており、令和5年度第6回の勉強会資料に次のように報告されています。</p> <p>「大きな課題の1つは『水辺とまちの分断』である。浅草橋は隅田川と神田川が交わる場所だが、まちから河川や水辺を感じづらく、水辺に近づくための通路、手段も不足している。隅田川のテラスを見ていると、高齢者や車いす、ベビーカー、保育園のお散歩カートはテラスに入ることができない。せめてスロープやエスカレーターが欲しい。」という要望は、勉強会における重要な課題と受け取られています。</p> <p>ぜひ、以前提案した蔵前一丁目の場所に、スロープの設置を実現していただくようお願いします。</p> <p>また、今後のまちづくりの方向性などについてもお聞かせください。</p>	<p>テラスへのスロープ設置は、誰でも川を親しむという点からも、とても重要であると認識しています。</p> <p>隅田川を管理している東京都へは、令和4年度から、当地区の勉強会の概要や、会長よりご提案いただいているスロープ設置要望について伝えており、都にてスロープ設置の検討をいただいています。</p> <p>今後も、誰もが安全・安心にテラスを利用していただけるよう、スロープ設置の実現に向けて、積極的に都に働きかけてまいります。</p> <p>また、当地区の勉強会には、区から派遣しているまちづくり相談員と地域の皆様で、まちづくりの目標やテーマなどをまとめた「まちの将来像（案）」を検討いただいているところです。今後の勉強会における検討の結果を踏まえて、区としても地域と一緒にまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>	<p>●</p>

## 《 馬 道 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：7月5日（金） 午後3時から（会 場：馬道区民館）

### ◇ごみの分別回収について

質問	回答	対応
<p>今年の10月から、区内の一部地域でプラスチックごみの分別回収を開始し、来年の4月から区内全域で実施すると説明を受けましたが、分別の仕方が難しいというのが率直な感想でした。</p> <p>馬道地区では浅草3丁目から7丁目から10月から回収開始と聞いています。高齢の方や外国人の方も多く居住しているので、混乱が生じないよう周知の徹底をお願いします。</p>	<p>区では、循環型社会の実現に向け、現在燃やすごみとして収集しているプラスチックを資源化するため、分別回収を開始します。</p> <p>分別方法については、区ホームページに掲載しているほか、広報たいとう6月20日号の1面に記事を掲載しました。</p> <p>また、イラストや図でわかりやすく説明したパンフレットを7月から順次、全戸に配布します。外国の方にもご理解いただけるよう、このパンフレットは7か国語版でも作成しています。</p> <p>このほか、11地区町連の全ての地区で説明会を予定しています。別途、マンションの管理組合向けにも説明会を行なっています。</p> <p>新たな取り組みであるため、区民の皆様にご理解いただけるように丁寧な説明に努めてまいりますので、不明な点はいつでもお問合せいただきたいと思います。</p> <p>※現在、パンフレットは10か国語版を用意しています。（清掃リサイクル課）</p>	<p>○</p>

◇銭湯について

質問	回答	対応
<p>馬道地区内には4軒の銭湯がありますが、台東区は銭湯密度が都内最高であるという記事が広報たいとうに掲載していました。各銭湯では特色を出したり、様々なイベントを実施したりするなど努力をしているようですが、燃料代の高騰などもあり、経営は厳しいと聞いています。</p> <p>銭湯文化を絶やさぬよう、区としても銭湯の利用促進に向けた取り組みを続けていきたいです。</p>	<p>本区における公衆浴場は、地域の方々の交流の場や見守りの役割を担っており、区民の方にとっても大切な場です。</p> <p>現在区では、公衆浴場組合に対する助成や、各浴場の設備改善等を行う場合の助成を設けており、区内の公衆浴場を経営する方々にご利用いただいています。</p> <p>しかし、昨今の燃料費や物価の高騰により、厳しい状況であることは、区も認識しています。そのため、これらの助成制度が、さらに経営の安定化につながるよう今後も検討してまいります。</p> <p>また今年度、区では「高齢者ふれあい入浴事業」を拡充しました。具体的には、「高齢者ふれあい入浴券」の対象者および給付枚数を拡充し、さらに65歳以上の方を対象とした公衆浴場無料開放の日数を増加します。</p> <p>今後とも浴場利用者の拡大に向けて、引き続き取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇旧竜泉中学校跡地の福祉施設について

質問	回答	対応
<p>先日、愛称募集があり、資料を拝見しましたが、施設の内容がわからないところがありましたので、改めて整備する新施設の内容を教えてくださいたいです。</p>	<p>現在、旧竜泉中学校跡地には「特別養護老人ホーム」と「竜泉福祉センター」の2つの施設を建設しています。特別養護老人ホームは、定員176名で、来年3月に開設予定です。</p> <p>そして、先日、愛称を募集していた竜泉福祉センターは、介護予防や認知症対策、介護サービス事業者への支援等の高齢者福祉施策の充実や、高齢者をはじめとする区民の皆様の交流の促進等を図ることを目的に整備する施設です。開設は今年の10月1日を予定しています。</p> <p>地上6階建の当施設は、様々な活動の場としてもご利用いただけますので、多くの方にご活用いただきたいと思います。</p> <p>※令和6年10月1日に「竜泉福祉センター『いきいきてらす』」、令和7年3月1日に「特別養護老人ホーム竜泉」を開設しました。（高齢福祉課施設整備担当）</p>	<p>—</p>

◇令和7年の大河ドラマについて

質問	回答	対応
<p>来年放送されるNHKの大河ドラマ「べらぼう」の舞台が江戸時代の吉原が中心になると聞いています。</p> <p>江戸の歴史や文化を広める良い機会だと思いますので、地域が活性化するような取り組みをお願いします。</p>	<p>いよいよ、来年から大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の放映が始まります。</p> <p>区では、この放送を契機として、官民で組織する『台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会』を今年の1月に設立し、まちの賑わい創出や区内経済のさらなる活性化への取り組みを進めています。</p> <p>活用推進協議会では、台東区民会館に「大河ドラマ館」を、また吉原会館（吉原六ヶ町会館）にはゆかりの地巡りの拠点となる施設を開設してまいります。</p> <p>そのほかにもイベントの開催や、様々な機会を捉えての広報プロモーション活動により、江戸から続く歴史や文化の魅力の発信に取り組む予定です。</p> <p>一方、区では区内事業者向けに、「蔦屋重三郎」や「江戸文化」に関連した商品開発等の支援を行なっています。</p> <p>今後とも活用推進協議会とともに、まちの賑わいの創出や区内経済のさらなる活性化を図ってまいります。</p>	<p>—</p>

## 《 竹 町 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：7月9日（火） 午前9時30分から（会 場：台東一丁目区民館）

### ◇町会活動の支援強化について

質問	回答	対応
<p>近年の定年延長などにより60代の町会役員のなり手が減少しており、高齢化が進んでいます。</p> <p>町会は防災、防犯、防火、美化、伝統文化の継承、お年寄りの対応など、期待される役割は増加の一途であります。裁判所の判決により、町会への加入は任意とする風潮が大勢を占めています。</p> <p>台東区でも町会維持強化に対していろいろと対策を講じているとは考えますが、より一層の具体的な対策の実施予定、またはお考え（構想）がありますでしょうか。</p>	<p>町会は、行政サービスだけでは賅いきれない様々な活動を担っていることなどから、区では町会加入を推進しています。</p> <p>たとえば、新たに転入された方へ、町会加入申し込みハガキ付のリーフレットを配付したり、住所からどの町会に属するか簡単に調べられるよう、区公式ホームページ内に「町会名検索」のページを設けたりしています。</p> <p>町会を維持していくためには、町会活動に参加してくれる人、町会運営を担う人を増やすことが必要です。そのため、町会を知ってもらい、町会の活動を理解してもらうことが重要であると考えて「町会アドバイザー派遣事業」を実施し、広報紙の作成など町会からの情報発信に役立てていただいています。</p> <p>今後も具体的なご相談などがございましたら、地区センターや区民課にご相談ください。</p>	—

◇「PayPay で台東区を応援しよう」について

質問	回答	対応
<p>対象店舗の利用でPayPay支払いの場合、最大20%ポイントが付与されるキャンペーンは、PayPayの取り扱いがない店舗で売上が減少してしまいました。</p> <p>今後、このような店舗への支援や、またPayPay以外のキャッシュレス決済事業者との取り組みなど、地域全体の活性化につながるようなキャンペーンをお考えでしょうか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の長期化や、国際情勢に起因する物価高騰などで厳しい状況に置かれている区内事業者を支援し、キャッシュレス決済の普及促進や、区内の消費喚起を図るため、令和3年度から3回にわたり本事業を実施してまいりました。</p> <p>このような方法を採用したのは、消費喚起や事業者の皆様の支援をスピード感を持って行うためでしたが、利用者が限定されることなど、いろいろなご意見があったことは認識しています。いただいたご意見などを踏まえ、今後も地域全体の活性化につながるような事業を検討してまいります。</p>	☆

◇御徒町駅施設について

質問	回答	対応
<p>御徒町駅前東西に設置されている地下通路について、以前、JRからの説明で、先々JR駅と直結して乗り入れができるようになるという話を聞きました。完成すると、災害時に上野公園へ避難する通路として大変便利になると思います。完成はいつ頃になるのでしょうか。</p> <p>また、駅前の元保育園施設の跡地についての計画は、どのような予定でしょうか。</p>	<p>この件に関しては、担当が伺い、これまでの経緯等を聞かせていただければと思います。そのうえで、区としてJRにどのように働きかけたら良いか検討してまいります。</p> <p>また、駅前の区有地については、御徒町駅周辺地区のまちづくりに活用するための土地として、位置付けられています。まだ具体的な計画は決まっていますが、保育所移転後は、防犯訓練や交通安全教室などの地域の安全・安心に資する取り組みの実施場所として、一時的に活用しています。</p> <p>今後も地域の皆様のご意見等をお聞きしながら、御徒町駅周辺の魅力・価値がより高まるような活用方策について検討してまいります。</p> <p>※令和6年7月、質問者に経緯の確認を行い、JRにご意見内容をお伝えしました。(地域整備第一課)</p>	●

## 《 谷 中 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：9月6日（金） 午後3時から（会 場：谷中区民館）

### ◇ 「子ども広場」を「みんなの広場」とする住民からの切なる願い

質問	回答	対応
<p>昨年度に引き続き、町会内にある広場についての要望です。</p> <p>住民の意見を直接聞くべく、昨年末から約1か月かけて聞き取り調査を行いました。近隣のお宅とお子さんのいるお宅を訪問し、また役員からも文章で回答してもらいました。</p> <p>以前、区のアンケート結果では、子ども広場に一部が反対しているとの回答があり、これまで「住宅地の中にある広場だから問題」と聞いていましたが、今回の調査で住民の多くは、「住宅地の中にある広場だからこそ安心」と考えていました。子供しか使えない広場ではなく、多世代が同じ空間を共有することで、子供や高齢者の見守りができると、多くの住民が考えていました。</p> <p>今一度、「子どもの広場」から「みんなの広場」への移行を検討していただきたく、住民をあげて切にお願いします。</p>	<p>当遊び場については、現在、子供の遊び場を使用することを目的に寛永寺からお借りしています。</p> <p>この度、町会で近隣への聞き取り調査を実施され、多世代が利用する「みんなの広場」としてご意見をいただいたことから、活用方法について検討してまいります。</p> <p>引き続き、ご相談させていただきますので、よろしく願いいたします。</p>	☆

◇災害時のペットの避難場所について

質問	回答	対応
<p>今年1月には能登半島地震があり、我々もいつ首都直下型地震が襲ってくるのかと不安でいっぱいになります。</p> <p>当町会では、ペットを飼っている家庭が多く見られます。別件で「子ども広場」についての個別調査をした際、「災害時に子ども広場をペット専用開放してほしい」との声が多く聞かれました。</p> <p>災害時の行動として、環境省は飼い主とペットと一緒に避難する「同行避難」を推奨しています。台東区も同様かと思われます。</p> <p>避難所には動物アレルギーの方もいれば、動物嫌いな方もいらっしゃいます。また、体の大きな動物もいれば、不安で吠えてばかりの動物もいると思います。</p> <p>そこで、避難所とは別に災害時のペットの専用受け入れ場所（同伴避難）として、「子ども広場」を活用できないでしょうか。大きな地震が起こった今、ペットの避難について、皆でもう一度真剣に取り組むべきときが来ていると思います。</p>	<p>区では、ペットと一緒に避難所へ避難することは可能としています。一方で、人とペットが同じ居室で生活することは、他の避難者への配慮から難しく、居室とは別の場所での飼育をお願いしています。</p> <p>区内のオープンスペースには限りがあり、災害が発生した場合には様々な活用が想定されます。</p> <p>ペットの受入場所など、災害時のオープンスペースの活用については、今後の課題とさせていただきます。</p>	<p>△</p>

◇町会内掲示板の更新または改造について

質問	回答	対応
<p>現行の掲示板の問題点として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨風により掲示物が濡れる、剥がれる。</li> <li>・掲示物が剥がれることにより、画びょうも飛んで、道路に落ちて危険である。</li> <li>・落ちた画びょうによって、サンダル等の履物に刺さり、怪我をしたり、自転車のタイヤがパンクしたりする事例が起きている。</li> </ul> <p>などがあげられます。</p> <p>その解決策として、新たな掲示板への更新をお願いしたいです。具体的には、近隣区等で見かけるボックス型の掲示板に更新していただき、掲示物はマグネットで貼り付ける方法を採用していただきたいです。なお、予算工事日程等もあることから一括とは言えませんが、一基ずつでも良いのでお願いしたいです。</p> <p>もし、新設が不可能な場合は、既存の掲示板を改造していただきたいです。具体的には、両開きドア（観音開き）を取り付けて、風や雨の対策をし、クリアプラスチックボードに木枠を取り付けて、現行の掲示板に蝶番で取り付ければ、掲示方法は現行のままでも行うことができると思います。また、止め具は掛金で南京錠にて封をすることもできると思います。</p>	<p>日頃より、区政情報の周知にご協力いただきありがとうございます。町会の掲示板は、区民の皆様への周知手段として重要な役割を果たしていると考えています。</p> <p>これまでも風雨に耐えられる紙の使用や、サイズの統一、ユニバーサルデザインの画びょうの配付など工夫をしまいいりました。</p> <p>引き続きアクリル保護板付きや、マグネットタイプの掲示板への建替えの検討に加え、皆様からのご意見を伺いながら、より貼りやすい、より剥がしやすい方式の検討も進めてまいります。</p> <p>※令和7年度より、アクリル保護板付きのマグネット式掲示板へ順次更新をしていく予定です。（区民課）</p>	<p>◇</p>

◇掲示板の新設のお願い

質問	回答	対応
<p>掲示板の現行のものは、風雨で掲示物が飛んだり、破けたりと不都合があります。一方、近隣区では、ガラス戸のある掲示板に変わっています。</p> <p>台東区も新設の予定はあるのでしょうか。ぜひ、やっていただきたいです。</p>	<p>同上</p>	<p>◇</p>

◇被災時の瓦礫置き場、遺体置き場について

質問	回答	対応
<p>区では発災後、瓦礫置き場や遺体置き場をあらかじめ決めておく必要があると思いますが、どのように取り組むのでしょうか。</p>	<p>まず、瓦礫置き場について、区では災害廃棄物処理計画を策定し、災害発生に伴う「ごみ」を一時的に集積する仮置き場を設置することを定めています。仮置き場は、区内で候補地を選定していますが、それらの場所は水害や地震など災害の種類や状況により、避難や救助活動などの様々な用途で使用する可能性もありますので、発災後の状況に応じて対応してまいります。</p> <p>次に、遺体安置所について、発災時、遺族の心情に配慮した適切なスペースを確保できるよう、警察や関係機関などと調整のうえ、設置場所の想定をしています。万が一、災害が起こった際には、自衛隊や警察などと連携し、遺体の搬送や遺族への引き渡しを円滑に実施していくとともに、区民への情報提供を行なってまいります。</p>	<p>—</p>

◇災害時における準備のための備蓄倉庫設置について

質問	回答	対応
<p>谷中地区は、高台で坂を上った所もあり、支援物資の運び込みには大きな懸念があります。そこで、各家庭における備蓄は急務であると考えますが、住民の高齢化や家屋の事情により、十分な備蓄ができないのが現状です。</p> <p>このような状況の中、各町会における備蓄が理想的ではありますが、備蓄倉庫を設置する場所について困窮している現状です。</p> <p>そこで、谷中5丁目の遺贈地については、故人より「地域のために活用してほしい」と聞き及んでいます。その中で、隣接地に沿っていくつか町会の倉庫が置けるスペースをお貸しいただき、各町会の負担で備蓄倉庫を用意できればと考えていますので、ご検討いただければと思います。</p>	<p>谷中5丁目の遺贈地は、当該地所有者の遺言や地元協議会でのご意見を参考に、「日常的には地域住民や来街者が集う、憩い・ふれあいの広場として、地域の魅力向上につなげる」こと、「災害時は防災に資する機能を提供する」ことを活用方針として決めました。</p> <p>現在、その活用方針を踏まえたご提案をいただくプロポーザルを実施しており、今年の12月には設計者と運営事業者の公表を予定しているところです。</p> <p>区としても地域の安心・安全を考えるうえで、「防災」は非常に重要な視点と考えており、プロポーザルでは、遺贈地への防火貯水槽の設置を必須としました。また、初期消火に必要な資機材を格納するための防災倉庫の設置を予定しています。</p> <p>ご提案いただきました各町会の備蓄倉庫設置に関しては、地域の安心・安全を高めるうえで有効な視点と考えますが、敷地が限られていることから難しいと考えています。</p>	<p>△</p>



## 《 金 杉 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：9月6日（金） 午後6時から（会 場：金杉区民館）

### ◇台東区の出生率について

質問	回答	対応
<p>東京都の出生率が0.99となり、初めて1.00を下回りました。台東区も2018年より年々出生率が減少しています。区として、今後どのような対策をお考えでしょうか。</p> <p>子供たちが少なくなるということは、各町会の存続が危ないということです。マンションが増え、町会費を支払う人も減り、町会役員を引き継げる人も少なくなっています。今後の町会のあり方をどのようにお考えでしょうか。</p>	<p>区の独自の取り組みとして、今年度より出産費用助成を開始したほか、子ども医療費助成や、学校給食の食材調達の全面支援、子育て相談体制の充実を図るなど、安心して出産・子育てができる環境を整備してまいりました。また、若者に向けては、生活の基盤を支えるための就労支援や、地域とのつながりを強化するために地域活動への参加促進などに取り組んでまいりました。</p> <p>こうした取り組みを継続するとともに、子供、若者、子育て世帯をはじめ、誰もが住み慣れた地域で支え合いながら、安心して暮らしていける環境を構築してまいります。</p> <p>また、町会活動の新たな参加者や担い手を増やすためには、これまで以上に、町会の活動について知ってもらい、理解してもらうことが大切であると考えます。そのため区では、「町会アドバイザー派遣事業」を実施し、広報紙の作成など、町会からの情報発信に役立てていただいています。</p> <p>今後とも町会へ関心を持つきっかけにつながるよう、皆様と取り組んでまいります。</p>	—

◇国会議員の政治資金問題に関連して

質問	回答	対応
<p>昨年末からの国会議員の政治資金問題は国民の大きな関心を集めました。内閣の支持率にも影響を及ぼし、7月の都知事選挙でも争点となりました。本区の区長や区議会議員はどうかと心配しているのは私だけでしょうか。</p> <p>区長として、政治にかかるお金に関してどのようなお考えをお持ちなのか、お伺いします。</p>	<p>私は、政治資金規正法など各種法に基づき、透明性を確保し、適切に対応しています。</p> <p>政治的な活動を行ううえで、調査や研究に関する一定の資金は必要であると考えますが、その用途および管理は公正を損なうものではあってはならないと考えています。</p>	—

◇教員不足解消について

質問	回答	対応
<p>全国的に教員不足が問題視されていますが、台東区では不足していないでしょうか。また、不足している場合は、どのような対策をお考えでしょうか。</p> <p>区として、東京都への要望はもちろんのこと、区独自で教員の採用を行うなどのお考えはありますか。</p>	<p>今回の件に関しては、区教育委員会に確認した内容としてお答えさせていただきます。</p> <p>本区では今年度、小学校において正規教員が配置できなかった学校はありませんでした。また、中学校のうち2校については、技術科教員の確保が困難であり、正規教員を配置できませんでしたが、代わりに非常勤の講師を配置していると聞いています。</p> <p>区教育委員会としては、教員の確保は都の責務と考えており、区独自の採用については考えていないとのことです。必要な数の教員を確保できるよう、引き続き都へ要望してまいります。</p> <p>なお本区では、会計年度任用職員として「学力向上推進ティーチャー」を配置しており、チームティーチング、少人数への指導、放課後学習等、きめ細やかな指導を行い、児童生徒の学力向上に努めています。</p>	—

◇避難所に女性の防災職員配置を

質問	回答	対応
<p>今年の半年間で、能登半島地震、台湾東部沖地震と大きな地震がありました。ニュースで避難所の風景が映し出されましたが、台湾と比べ能登半島の避難所は旧態依然とした対応でした。</p> <p>当町会防災団の避難所運営は、弱者の方への対応を重く考えています。女性・高齢者・子供・障害をお持ちの方・ペットなど、特に被災した女性の方は、男性職員には言いづらいデリケートなことが多々あります。</p> <p>区危機・災害対策課には、女性職員の方が16名中4名と伺っています。内閣府の昨年末の調査では、全国で女性職員がゼロの市区町村が57.4%もあるそうです。</p> <p>首都直下地震をはじめ、東京でも想定される様々な災害に備えるため、本区においても早急に女性職員配置の比率を高めていただき、女性の視点を取り入れた避難所対策をお願いします。</p>	<p>今回の能登半島地震や過去の震災を受けて、区としても女性避難者への配慮が必要であることは認識しています。</p> <p>現在、全避難所に区が整備している「避難所運営キット」は、女性の相談スペースの確保など、女性の視点を取り入れたものになっています。</p> <p>そのほか、妊産婦避難所の設置や、今年度予算で授乳服の備蓄を予定するなど、引き続き女性避難者に配慮した避難所対策に取り組んでまいります。</p> <p>なお、区の人事配置については、人員構成や、職員の意向・適性等を考慮し、総合的に判断して、適正な配置に努めています。</p>	<p>—</p>



## 《 入 谷 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：9月9日（月） 午前10時から（会 場：入谷区民館）

### ◇災害時におけるインバウンド救済

質問	回答	対応
<p>区内では、「民泊」が8月現在、748軒と急増しており、特に東南アジアの方々が多いように見受けられます。</p> <p>さて、いざ避難を必要とする震災等大きな災害が発生した場合には、町会組織は町会内居住者の安全確保に役員は行動しなければなりません、日本語を話せるインバウンドはいないと言っても良いのではないのでしょうか。SNSのアプリを使用しても停電や多くの住民の利用により、機能不全になるはずでず。また、商店街は日中であればシャッターを閉めてしまう店舗が多いと言われています。</p> <p>対応をご指導ください。</p>	<p>区は、大震災が発生した場合の対応として、町会の皆様に避難所の開設や運営、および避難行動要支援者の支援等をお願いしているところです。</p> <p>インバウンドに対しては、帰宅困難者対策として東京都や区が中心となり、広域的な対応をしていく体制をとっており、台東区では毎年、対策訓練を実施しています。</p> <p>また、区では防災アプリや台東区帰宅困難者防災ガイドの多言語化を行い、広く情報発信をしています。防災アプリは、区公式ホームページや台東区公式観光情報サイト「TAITOおでかけナビ」での周知をはじめ、区内の一定規模の宿泊施設に周知を依頼するなど、外国人の方への啓発に取り組んでいます。しかし、さらなる周知に取り組む必要があると認識しています。</p> <p>今後も訓練や、様々な媒体を活用した周知に取り組むことにより、災害対応力を強化してまいります。</p>	—

◇消滅可能性自治体にならないために

質問	回答	対応
<p>「人口戦略会議」は人口問題研究所の推計のもと分析結果を公表し、出生率が低く、他の地域からの人口流入に依存している自治体を「ブラックホール型自治体」と呼び、その中に台東区も入っていました。</p> <p>万が一、今後転入者が減少していった場合、台東区も「消滅可能性自治体」のようになる可能性があります。このようにならぬよう、区としての考えをお聞かせいただきたいです。</p>	<p>「人口戦略会議」における分析結果において、本区が「ブラックホール型自治体」に分類されていることは認識しています。なお、これは地方からの移住者の多い都市部に多く見られる分類となっています。</p> <p>全国的には人口が減少していますが、本区が令和3年に実施した最新の人口推計では、区の総人口は令和37年まで増加をする見込みとなっています。</p> <p>将来にわたり多くの人から選ばれ、住んでもらえるまちであり続けるために、子育て支援や保育サービスの充実、安心して住み続けられる暮らしやすい地域環境整備など、各時代のニーズに合わせた施策に取り込むことで、引き続き本区の活力と魅力の向上に向けて取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇区立幼稚園の在り方について

質問	回答	対応
<p>区立幼稚園の今後のあり方が、先の区民文教委員会で答申が出ました。時代とともに子育ての環境の変化は仕方ありませんが、区立幼稚園をなくすのではなく、区立幼稚園を利用する台東区独自の幼児教育・子育て支援策があると思います。</p> <p>つきましては、「答申についての見解」、「若者・子育て支援の今後の見解」をお聞かせいただきたいです。</p>	<p>今年6月、各種アンケート調査結果や学識経験者のご意見、区民の皆様からのパブリックコメントを踏まえ、「区立幼稚園の今後の対応」として方向性をまとめました。</p> <p>区としては、今後も就学前教育の充実と小学校への円滑な接続に向けて、質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育の全園実施や弁当給食の本格実施など、保護者のニーズに対応した施策を展開してまいります。</p> <p>また、区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児の保護者に正確かつ十分に伝わるよう情報発信の強化を図り、園児数の確保に努めてまいります。</p> <p>「若者・子育て支援」については、これまでも子育てに関する不安や負担の軽減、また若者の社会的・職業的自立を目的として、様々な施策を「次世代育成支援計画」に位置づけて実施してまいりました。</p> <p>今年度は計画の改定の年でもあり、子育て家庭や、子供・若者の皆さんからより多くのご意見をいただき、今後の区の施策に反映してまいります。</p>	<p>—</p>

◇働き方改革について

質問	回答	対応
<p>教師（学校）の働き方について、台東区という土地柄、伝統、PTA、地域との密接な連携、関係性があります。</p> <p>迅速かつ効果的に課題を解決するタスクフォースによる急激な改革は、現場に混乱を招きます。</p> <p>つきましては、台東区の学校、教師の働き方改革についての考え方をお聞かせいただきたいです。</p>	<p>今回の件に関しては、区教育委員会に確認した内容としてお答えさせていただきます。</p> <p>学校が抱える業務の増加、慢性的な教員の長時間勤務により、教員のなり手不足、離職率の上昇は深刻な問題となっています。令和5年8月に出された文部科学省の中央教育審議会の答申では、「我が国の未来を左右しかねない危機的状況である」と指摘されました。</p> <p>また、本区でも令和5年度、区立幼稚園・小・中学校に勤務する3割以上の教員が、国の規準である月45時間を超えた時間外勤務を行なっている実態があったと聞いています。心身の不調等による子供たちの教育活動への影響が心配され、区教育委員会でも働き方改革に取り組み、持続可能な教育環境の整備に取り組まなければならないと考えています。</p> <p>なお、各行事の実施方法の見直し等については、区として一律で規定するものではなく、学校運営連絡協議会や各PTA連合会等と連携しながら、学校園や地域等の実態を踏まえて推進しているとのことです。</p> <p>教職員が生き生きと教育や保育に取り組むことで、より多くの子供たちの笑顔と成長につながると考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>	<p>—</p>

## 《 上 野 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：9月10日（火） 午後1時から（会 場：上野区民館）

### ◇空き家対策について

質問	回答	対応
<p>町内に空き家があり、ここ数年立ち寄った様子がありません。東日本大震災では被害はありませんでしたが、害虫、ねずみ、耐震、放火等、町内の方も不安に感じています。</p> <p>何か区として対策を希望します。</p>	<p>区でも年々新たな空き家が発生していることは認識しています。</p> <p>そのため、区では調査を行なっていますが、ご連絡をいただいた場合にも現場確認を行い、周辺に対して危険な状況が確認できれば、所有者を探して維持管理について指導してまいります。</p> <p>所有者を特定するための作業や、所有者が対応するまでに時間が掛かることがありますが、粘り強く対応しています。</p> <p>担当の建築課からご連絡しますので、ご心配の場所について、具体的にお伝えいただければと思います。</p> <p>※令和6年9月、質問者に状況を確認し、これまでの経過および今後の対応について説明しました。（建築課）</p>	○

◇放置自転車について

質問	回答	対応
<p>以前よりお願いしていますが、放置自転車は上野や御徒町の繁華街では大きな問題になっていて、抜本的な対策が求められています。</p> <p>撤去回数を増やすなど、新しい対策を考えていただきたいです。</p>	<p>上野駅や御徒町駅など、放置自転車が多くみられる主要駅周辺については、指導整理区域として巡回指導員による指導と警告を行なった後に、即日撤去しています。</p> <p>なお、ABAB周辺に関しては、巡回は毎日行っており、撤去も定期的に行なっています。</p> <p>今後についても、巡回指導員による指導や撤去等を通じて、放置自転車の抑制と歩行者の安全確保に努めてまいります。また、台東区の実情に沿ったより効果的な対策を検討してまいります。</p>	<p>☆</p>

◇PFASについて

質問	回答	対応
<p>地下水に含まれる有機フッ素化合物PFASの目標値が上回っていることに不安があります。</p> <p>災害時、飲み水となる可能性のある避難所井戸水の対策などをお聞かせください。</p>	<p>区では災害時の断水に備え、飲み水として利用することはできませんが、生活用水としての浅井戸を38か所、また濾過装置を備えた深井戸を10か所整備しています。</p> <p>断水時の対応としては、まずは地域の応急給水栓や消火栓から給水を行うこととなります。</p> <p>ただし、そのような給水拠点から水を取ることができない場合、区が整備している最寄りの深井戸を活用することになり、深井戸に備えている濾過装置は、PFASを人体に影響がないレベルまで取り除くことができます。</p>	<p>—</p>

◇歴史的建造物の保護について

質問	回答	対応
<p>池之端3丁目にある「旧忍旅館」という東京都の歴史的建造物になっている建物があり、所有者が旅館として再生したいとの希望があるそうですが、文教地区であるため旅館業の再開が認められないそうです。</p> <p>その場合、現在の建物の維持が困難になるため、取り壊して売却することを検討されています。</p> <p>歴史と文化を重視する台東区として、何らかの対応ができないでしょうか。</p>	<p>「旧忍旅館」は昭和4年に旅館として建てられ、現在は「東京都選定歴史的建造物」に選定されています。</p> <p>その後、昭和25年に「東京都文教地区建築条例」が制定され、これに基づき、このあたりの区域が「文教地区」に指定されました。文教地区は、主に大学周辺の文教環境の保護を目的としており、旅館の建築等は禁止されています。</p> <p>「旧忍旅館」は条例制定前に建てられていたため、当初は旅館として建築が可能な状況でした。しかし、その後に別の用途で使用している場合、再度の旅館業への用途変更は条例の適用となってしまうため、再開は難しい状況です。</p> <p>なお、所有者の方に文化財指定の意向があれば、教育委員会において登録有形文化財に登録するよう、国に意見具申することが可能です。登録された場合は、修理事業の設計監理事業や美観向上整備事業に関する国の補助金がございます。</p>	<p>—</p>



## 《 浅草寿地区町会連合会 》

日時：11月8日（金） 午後4時から（会場：寿区民館）

### ◇江戸通り沿いの街路樹緑地帯について

質問	回答	対応
<p>江戸通り沿いの街路樹緑地帯は、低い樹木で小さな葉が生い茂っているため、ごみを捨てても葉の中に入り込んでしまい目立ちません。そのため、ごみ箱のような感覚で常にポイ捨てをされています。</p> <p>車の信号待ちの際、たばこのポイ捨てをされるだけでなく、隅田川花火大会のときには広範囲にわたってごみを捨てられてしまい、翌日、周辺住民はごみの回収、清掃で大変な思いをしています。</p> <p>対策として、ごみを捨てにくい状態にするのが1番と考えます。樹木ではなく、別の形に変更できないでしょうか。</p> <p>また、江戸通りという名称のイメージに合った、情緒あるデザイン性の高いガードレールを設置する等、道路管理者である国と協議いただけたらと思います。</p>	<p>区では、まちの環境美化を促進するため、「東京都台東区ポイ捨て行為等の防止に関する条例」を施行し、ポイ捨て行為を禁止するとともに、マナー指導員による巡回・声掛けや、路面標示シートを設置する等の啓発活動を実施しています。</p> <p>車両が多い国道沿いの植栽などではごみのポイ捨てが見受けられ、状況が悪い場合、道路管理者に対して清掃の依頼や啓発物の掲示依頼などを行なっています。</p> <p>ご要望いただいた緑地帯の形状変更については、国道事務所に情報を提供し、植栽の剪定も含めて改善を促すよう働きかけてまいります。</p> <p>また、ガードレールについては、今回のご意見を国道事務所に申し入れをしております。</p> <p>※令和6年11月、現地状況を確認し、国道事務所にご要望の内容を申し入れました。その後、植栽内にポイ捨て注意喚起の看板が設置されました。（環境課、都市計画課）</p>	<p>対応</p>

◇町会で統一ドメインによるアドレスの運用を

質問	回答	対応
<p>最近、町会活動でIT化やDX化に向けて、LINEやX等を活用しているところもあるようです。しかし、高齢者やスマホを使いこなすことが難しい方も多くいる中、メールによる問合せ対応や情報発信も併用できたらと考えています。</p> <p>町会によってはホームページを開設したり、フリーアドレスを使用したりして情報発信を行っていますが、信頼性の向上と発信元の信用度を高めるために、統一ドメインでの運用を提案します。具体的には、ドメインの取得を区で行い、198町会の“町会番号”をそれぞれ振って、統一ドメインによるアドレスを運用できたらと思います。実現できれば、町会への問合せ手段も増え、町会を身近に感じてもらえて、町会への加入促進にもつながるのではないのでしょうか。</p>	<p>町会におけるデジタル化の促進は、情報発信や共有の効率化などが進み、町会活動の負担軽減にもつながるものと認識しています。</p> <p>町会が管理するものとして、信頼のあるメールアドレスを使用することは、利用者の安全性のためにも大切なことだと思います。しかし、すでに専用のメールアドレスを取得し、各種運用を行なっている町会もあると思われます。そのような町会が新しいメールアドレスを使用するためには、住民への周知だけではなく、登録変更の手続き等が必要になり、今回のご提案の実現に向けては様々な調整が必要になると考えられます。</p> <p>現在、区では町会のデジタル化推進のため、掲示板ポスター・回覧チラシのデータを、令和5年10月から区公式ホームページに掲載を始めました。デジタル化の支援については、引き続き検討を進めてまいります。</p>	△

◇道路側溝蓋について

質問	回答	対応
<p>町会内の道路側溝蓋で、古いタイプのものが何か所かあります。コンクリート製で、大きなたて穴が4つある蓋ですが、この穴にたばこの吸殻を投げ捨てられ、投げ損じは火災の懸念となってしまう場合もあります。また、ペットの散歩途中、そこに糞尿も投入されてしまい、異臭を放つこともあります。</p> <p>そこで、この蓋を金属製で鋼板やステンレスでできている細かい網状の蓋、いわゆるグレーチングというものに置き換えていただきたいです。</p>	<p>雨水を集めるための柵の蓋は、コンクリート製とグレーチングのものがあり、区では、現地の状況に応じて使用しています。グレーチングの場合、コンクリート製に比べて降雨時の排水能力が高い一方、臭いや虫が発生した際の対策などが考えられます。</p> <p>後日、担当の土木課から連絡をさせていただき、現地を確認したうえで検討させていただきたいと思います。</p> <p>※令和6年11月、質問者に今後の対応について説明し、対応が必要な場所を町会内でご検討していただくことになりました。(土木課)</p>	☆

◇ペットの飼い主のマナー向上について

質問	回答	対応
<p>ペットの散歩時の飼い主のマナー違反が多く、目に余るため、今日この場で区長に直接、要望します。とにかく、ペットの糞の始末をせず、知らん顔してそのまま通りすぎる飼い主が多いです。町会の会員から苦情が何件も寄せられています。</p> <p>区からもらった啓発のシールや看板、貼り紙等がありますが、それだけでは効果は薄いと思います。「犬のしつけ教室」もあると聞いてはいますが、飼い主自身のマナー、モラル向上に結び付く事業のさらなる展開や、区としての罰則の規程の設置等をぜひ検討いただきたいです。</p>	<p>飼い主のマナーの問題については、区でも対応に大変苦慮しています。</p> <p>犬の糞については、「東京都台東区ポイ捨て行為の防止に関する条例」にて飼い主が処理するよう求めており、啓発活動を地道に積み上げ、マナーの向上を図ることが重要だと考えています。</p> <p>区では、啓発用看板や動物が嫌がる臭いにする忌避剤の配付をはじめ、狂犬病予防注射のお知らせと合わせて、糞尿の始末について注意を喚起しており、「広報たいとう」等でも年間を通して啓発を行なっています。</p> <p>さらに、「犬のしつけ方教室」や「子犬のしつけ方講座」では、自宅でトイレを済ませてから散歩するような新しいしつけ方法を推奨するなど、飼い主のモラルの向上についても普及に努めているところです。</p> <p>しかし、いまだ心無い飼い主が散見するのも事実であり、引き続き飼い主に対してルールを守るよう強く呼び掛けてまいります。</p> <p>なお、区では飼い主が特定できれば直接注意・指導をしますので、具体的な内容を保健所の生活衛生課までご相談ください。</p> <p>人と動物が共生できる美しいまちづくりのため、これからも継続して粘り強く取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇ごみ収集時間の公平な設定を

質問	回答	対応
<p>我々の町会と道路を挟んだ反対側の町会とでは、燃えるごみの収集時間が4時間近くの差があります。そのため、午前中にごみを出しそびれた人たちが、我々側の午後の収集時間を知っており、その時間に合わせてごみを出すという状況が恒常化しています。</p> <p>ごみの量が多くなってしまっただけでなく、午前中に生ごみを出す飲食店等もあるため、特に夏場は酷い悪臭が発生し、近隣住民は大いに迷惑を受けています。台東清掃事務所に収集時間の変更を相談しましたが、「今の収集のローテーションでは難しい」とのことでした。</p> <p>そこで、対応策として以下の2点をお願いしたいです。</p> <p>①片方の町会のみ恒常的に午後収集とするのではなく、回収時間を隔年で午前・午後と交互に設定いただくこと</p> <p>②ごみ収集時間や場所等のルールを守ってもらえるように対応策を講じること</p>	<p>現在の収集ルートは清掃工場への搬入時間、人員、機材の配置、運用体制等、様々な要因を考慮したうえで設定しているため、特定の地域のみ収集時間を隔年で変更することは難しい状況です。</p> <p>また、イベント（祭礼等）や工事等で道路が通行止めになる場合や、その日のごみの量などによって通常の収集ルートでは清掃工場への搬入に支障がでる場合等、様々な要因により収集時間を変更することがあります。</p> <p>そのため、区では一律に資源・ごみは収集日当日の朝8時までに出していただくようご案内しています。</p> <p>また、ごみ出しや排出場所等のルール周知などについては、区で対応を行なっています。後日、担当の台東清掃事務所から連絡をしますので、状況をお聞かせいただいたうえで、対応してまいります。</p> <p>※令和6年11月、質問者に状況を確認し、今後の対応について説明しました。（台東清掃事務所）</p>	<p>△</p>

## 《 雷 門 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：11月11日（月） 午前10時から（会 場：雷門区民館）

### ◇町会内のことについて

質問	回答	対応
<p>①隅田公園内に酸素を放出する樹木を増加し、昔のようにアジサイロード、桜道と言われたとおり、草花を増やしてください。</p> <p>②水上バス公園入口の放置自転車を撤去してください。</p> <p>③隅田公園内に環境アート作品が設置されていますが、当初設置期間は10年ほどと聞いていました。その10年が経ちましたが、もし今後撤去をし、区としてこの場所を活用する予定がなければ、当町会の震災備品置場等に使用させていただけないでしょうか。</p>	<p>まず、隅田公園では全体の樹木の成長を踏まえ、過密な植樹とならないよう植栽に取り組んでいます。また、アジサイは毎年花が楽しめるように適切に管理しており、草花についても、花の名所づくりボランティア活動において、季節感のある草花を植えています。</p> <p>次に、水上バス公園入口付近は「放置自転車指導整理区域」に指定しており、巡回指導員による指導や注意喚起をはじめ、撤去作業を重点的に実施しています。しかし、違法駐輪は後を絶たず苦慮していますが、巡回で確認次第、マナー札による注意を行なっています。</p> <p>最後に、隅田公園内の環境アート作品の取り扱い、東京藝術大学と協議のうえ決定することとしています。設置から10年が経過しましたが、現在も観光アートスポットとして親しまれており、墨田区が管理している作品を含む全17作品によって、台東・墨田両地域を結ぶ観光アートラインを形成しています。引き続き、東京藝術大学、墨田区と作品の取り扱いについて協議してまいります。</p>	—

◇区役所の自転車について

質問	回答	対応
<p>区役所の駐輪場が混雑しており、自転車を置くスペースがなくて困っています。スーパーなどでは整理する方がいますが、区役所にはそのような方はいないのでしょうか。</p>	<p>現在、駐輪場の見回り、整理は、委託契約を結ぶ庁舎の警備員が行なっています。</p> <p>今回のご意見については委託業者にも伝え、連携を図りながら、より快適で整理された駐輪スペースを目指してまいります。</p>	—

◇町会掲示板について

質問	回答	対応
<p>今現在の掲示板は、風雨にさらされるとポスターなどがめくりとれることが多いです。</p> <p>ケース付きの掲示板にしたら良いのではないのでしょうか。</p>	<p>日頃より、区政情報の周知にご協力いただきありがとうございます。</p> <p>区ではこれまでも風雨に耐えられる紙の使用やサイズの統一、ユニバーサルデザインの画びょうの配付など、工夫をしております。</p> <p>現在、区では雨や風を受けても剥がれにくくする対策として、差し込み式フォルダやタッカーの採用を検討しています。</p> <p>今後も皆様からのご意見を伺いながら、貼りやすさ・剥がしやすさも含めて検討を進めてまいります。</p> <p>※令和7年度より、アクリル保護板付きのマグネット式掲示板へ順次更新をしていく予定です。（区民課）</p>	◇

◇将来の展望について

質問	回答	対応
<p>我々の町会は、お祭りや七五三など、ほとんどのイベントを隣の町会と仲良く一緒にやっています。</p> <p>しかし、防災訓練はそれぞれ別々の町会のグループに分けられて行われています。また、学校の学区も別に分けられています。</p> <p>今すぐ合併して1つの町会になるわけではありませんが、将来的にこれらが同じになることは可能でしょうか。</p>	<p>町会の合併については、諸課題が整い、両者の納得が得られれば可能だと考えます。</p> <p>しかし、避難所については、町会人口や施設規模などに応じて、町会ごとにあらかじめ指定しており、区全体のバランスを考慮する必要があります。</p> <p>また、小学校通学区の再編についても、これまで学校が培ってきた地域との関係や、歴史的経緯を十分に尊重する必要があり、保護者や学校、地域に与える影響が大きいと考えています。</p> <p>そのため、どちらに関しても慎重な協議・調整が必要であると考えています。</p>	<p>△</p>

◇健康推進委員の活動費について

質問	回答	対応
<p>健康推進委員は地区の健康増進のため、年2回のウォーキング、また同じく年2回の健康学習会を行い、年11回の連絡会も平日昼間に開催しています。</p> <p>聞くところによりますと、活動費として委員1人あたり、年額で¥12,000が支給されているようですが、ウォーキングの下見での交通費やカラー印刷のチラシ、また年6回のリーダー会が台東保健所で夜6時～8時頃まで行われており、ギリギリまで仕事をしているため自家用車で浅草から上野まで駆けつけ、駐車場代も馬鹿にならず持ち出しが多いとのことでした。</p> <p>スポーツ推進委員、民生委員や消防団など、町会内の他の担当と比較しても待遇に大きな差があるように思われるのですが、改善の余地はございませんでしょうか。</p>	<p>健康推進委員の方々には、日頃から地域の健康づくりのためにご協力いただき、感謝しています。</p> <p>ご質問にありました、健康推進委員の方々に支給している活動費は、区民の自主的な健康づくりを支援し、各地区での健康づくり活動を推進するための費用として支払っているものです。</p> <p>具体的には、健康推進委員が各地区で行う健康学習会、健康度測定、合同交流会、活動報告会などに掛かる費用に充てていただくものと認識しています。</p> <p>健康推進委員が行うイベントの内容やその頻度は、地区によって様々ですので、今後も活動に関しては地域ごとに相談にのらせていただき、委員の方々が円滑に活動できるよう支援してまいります。</p>	<p>—</p>

◇雷門通り実証実験について

質問	回答	対応
<p>神谷パー前（浅草1-1-1）からアオノヤ前（浅草1-2-1）まで、片側二車線の雷門通りを3週間程度、24時間通行止めにして実証実験を行いたいと申し出がありました。</p> <p>それに対して、日常の商業活動および生活に多大な支障が生じるとして地元の方々が懸念を示しています。</p> <p>区のほうで善処していただきたいと思えます。</p>	<p>区では、浅草地区の概ね20年後のまちの目指すべき姿やその実現に向けた取り組みを示す「（仮称）浅草地区まちづくりビジョン」の策定を進めています。ビジョンの策定にあたっては、地域の皆様と本地区の現状や課題を共有しながら、まちの目指すべき姿について議論しているところです。</p> <p>議論の中で、「雷門通りの一部の歩道などの混雑の解消が必要」との意見をいただきました。また来街者を対象としたアンケート調査では、「浅草の残念なところ」は「混雑していて回遊できない等の人の多さ」との回答が40%で最多となっています。</p> <p>そこで、歩行空間の拡充や滞留空間の創出により、歩きやすい・歩きたくなる空間を提供し、まちに来たすべての人がゆったりできる居心地のよい浅草にしていくことを目的として、今後、雷門通り等で社会実験を行い、どのような歩行空間や滞留空間を創出すればよいか模索していきたいと考えています。</p> <p>歩きやすい・来たくなる空間の提供は、混雑の緩和による歩行者の満足度向上はもちろんのこと、回遊促進による本地区の活性化や広場の創出により人の交流が期待できる等の価値があります。</p> <p>なお、地域の皆様の社会実験に関するご懸念については、認識をしています。社会実験の実施にあたっては、地域の皆様と相談をさせていただきながら進めてまいります。</p> <p>地域の皆様やご商売をされている方、また本地区を訪れる方にとって、快適で賑わいのあるまちの目指すべき姿を示せればと思っています。</p>	<p>—</p>

## 《 清 川 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：11月13日（水） 午後4時から（会 場：清川区民館）

### ◇旧東京都人権プラザ跡地について

質問	回答	対応
<p>先日東京都の職員の方が見えて、旧東京都人権プラザ跡地の工事が完了したと説明を受けました。ぜひ台東区でその土地を購入するようお願いします。</p> <p>また、購入後、跡地の活用方法として、公園や、公民館等の建物を整備するなど、具体的な計画があるのであれば教えてください。</p>	<p>旧人権プラザ跡地については、現地の工事が完了したことは確認しています。</p> <p>また、区としても、当該地が行政需要に資する重要な土地だと認識しています。</p> <p>そのため、東京都に対して購入に向けて相談を行なったところ、売却できるかは都として活用しないことが前提と伺っています。</p> <p>引き続き東京都の動向を注視しつつ、区としての跡地の活用方法について検討を行なってまいります。</p>	☆

◇町会掲示板について

質問	回答	対応
<p>台東区のお知らせや催物のポスター等を町会掲示板に貼らせていただいておりますが、風が強かったり大雨があったりすると、しっかりと留めたつもりでも、すぐに剥がれてしまいます。それゆえ、現状の掲示板の上にアクリル板やビニール板をかぶせて二重の構造に改修していただけないでしょうか。</p> <p>また、もし各町会に任せるということであれば、現状の掲示板に穴を開けたり、ネジを切ったりすることを許可いただくよう、お願いします。</p>	<p>日頃より、区政情報の周知にご協力いただきありがとうございます。町会の掲示板は、区民の皆様への周知手段として重要な役割を果たしていると考えています。</p> <p>これまでも風雨に耐えられる紙の使用やサイズの統一、ユニバーサルデザインの画びょうの配付など、工夫をしております。</p> <p>現在、区では雨や風を受けても剥がれにくくする対策として、差し込み式フォルダやタッカーの採用を検討しています。</p> <p>また、令和5年10月より、区公式ホームページにて回覧チラシ・掲示板ポスターを閲覧することができるようになっております。掲示・回覧に代わるものとして、皆様に活用いただけるよう周知をしております。</p> <p>今後も皆様からのご意見を伺いながら、貼りやすさ・剥がしやすさも含めて検討を進めてまいります。</p> <p>※令和7年度より、アクリル保護板付きのマグネット式掲示板へ順次更新をしていく予定です。（区民課）</p>	◇

◇町会掲示板のデジタル化について

質問	回答	対応
<p>毎月2回ポスターが町会に配付され、町会掲示板に貼り替えをする際、サイズは様々で、雨が降るとポスターは破損し、また画鋏が散乱するなどして自転車がパンクするといった事態も発生しました。</p> <p>町会役員の成り手不足等のため、ポスター貼り替えの作業を軽減したいので、掲示板のデジタル化の検討をお願いします。ペーパーレス化推進にもつながり、かつ行政側および町会側双方の作業の省力化が期待できるのではないのでしょうか。</p>	同上	◇

◇地域の子供たちが花火を楽しめるような公園の使用について

質問	回答	対応
<p>地域の子供たちが安心して花火を楽しむことができるよう、次のような条件のもとに公園の使用を認めてはもらえないでしょうか。</p> <p>①使用日または曜日を限定する。            ②使用期間を定める。            ③使用時間を定める。            ④管理は町会または近隣町会との協力のもと行う。            ⑤使用できる花火の種類を定める。            ⑥消防署の指導を受け、安全に万全の注意を払いながら実施する。</p> <p>また、もし認めていただけるのであれば、どの規模の公園でも大丈夫でしょうか。他に制約などはありませんか。</p>	<p>区立の公園や児童遊園は、住宅に密集している立地にあることが多く、花火による煙や騒音、光など、周辺にお住いの皆様へご迷惑をお掛けすることから、個人での花火利用は禁止にしています。</p> <p>しかし、町会の皆様が行うイベントの一環として、周辺にお住いの皆様のご理解のもと消防署への届出がなされれば、花火を実施することは可能です。</p> <p>なお、公園の規模については、特段の制約はありませんが、比較的大きな公園のほうが、周辺にお住いの皆様からご理解をいただきやすいと考えます。その他の制約については、事前の周知や消火、後片づけをお願いいたします。</p> <p>ぜひ来年の夏は、町会の皆様のご協力のもと、地域のお子さんたちと花火をお楽しみください。</p>	<p>—</p>



## 《 東 上 野 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：12月6日（金） 午後4時から（会 場：東上野区民館）

### ◇ 「暮らしのしおり わたしの便利帳」の作成目的について

質問	回答	対応
<p>台東区が発行の「暮らしのしおり わたしの便利帳」を入手し拝読しました。令和4年度の東上野地区の区長と語る会で「暮らしのしおり わたしの便利帳」の作成目的について質問させていただきました。</p> <p>今日は、「わたしの便利帳2024」の裏表紙の「もっと知りたい！台東区」のことについて質問します。</p> <p>「わたしの便利帳2022」「同2023」の裏表紙は「ツイッター」と表示がありますが、「同2024」は「X」とあります。また台東区公式「X」とあります。</p> <p>そこで、この「ツイッター」から「X」に変わったことについて、わかりやすい説明文の記載をしたほうが良いと思いました。追加する考えはあるのでしょうか、教えてください。</p>	<p>「暮らしのしおり わたしの便利帳」は、区役所での手続きや施設案内など、区民の皆様の暮らしに役立つ情報を1冊にまとめている冊子で、毎年発行しています。そして裏表紙には、区の公式LINEやYouTubeなどをご案内しています。</p> <p>運営会社が変更したことに伴い、「Twitter」の名称が「X（エックス）」に変更されましたが、区ではしばらくの間は「X」と「旧Twitter」を併記していました。その後、一定の期間が経過し、「X」の認知も広がったと考え、現在は「旧Twitter」の併記はしていません。</p> <p>しかし、「X」の1文字では、これが何を示すのかがわかりにくいというご意見はあるかと思えます。今後は、「X」の文字の後ろにカタカナを併記してまいります。</p>	<p>◇</p>

◇民有灯補助金について

質問	回答	対応
<p>町会内に設置している防犯灯は、町会で維持管理し、電気代も町会で負担しています。これに対し、台東区より毎年「民有灯補助金」をいただいておりますが、昨今の電気代高騰により、町会の負担がかなり大きくなっています。具体的には、当町会より東電へ支払っていた防犯灯電気代8,000円前後が、現状では約13,000円になっています。しかし、台東区よりいただいている補助金は年約70,000円（月約5,800円）のままです。</p> <p>町会費収入の増収が見込めない中、町会を維持するための経費は増額する一方ですので、「民有灯補助金」の増額を検討していただけないでしょうか。</p>	<p>町会が所有している防犯灯は、私道の安全を確保するもので公益性が高いため、区では現在も維持管理費の一部を補助しています。</p> <p>町会で設置した防犯灯は、町会での維持管理となりますが、物価変動による維持管理費の増減については、区としても認識しているので、今後とも適切な補助金額となるよう検討してまいります。</p> <p>なお、区では私道防犯灯の設置助成を行っており、町会が私道防犯灯の新設や取り替えを行う際に、区の立会いのうえで申請をいただければ、町会の負担なしで防犯灯を設置することができます。蛍光灯より省エネなLED灯に取り替えることで、電気料金やランプ交換など維持管理費が軽減できますので、ぜひご活用ください。</p>	<p>☆</p>

◇民泊事業者と宿泊施設に宿泊する旅行者のごみ処理に対するモラルと秩序

質問	回答	対応
<p>民泊事業所付近にごみが散乱し、スーツケースなどが放置されています。届出民泊事業者は、区から定期的に町会へ通知していただいておりますが、事業者からの責務である周辺住民への事前周知が町会にはありません。ごみ問題の衛生面や、治安の観点からも事業者と顔見知りであることは、町会にとってとても重要です。</p> <p>民泊事業者に対して、町会への事前周知の徹底と事業者の責務としての町会加入の奨励をお願いいたします。</p>	<p>町会加入については、保健所での届出相談時に資料を渡し、所管課をご案内することも可能ですので、今後対応してまいります。</p> <p>また、届出前の事前周知については、「東京都台東区住宅宿泊事業の運営に関する条例」において、当該住宅に隣接する家屋と110m以内にある学校・保育園等が周知対象となっており、指導を行なっているところです。なお、住宅宿泊事業者の届出情報は、区公式ホームページで一覧を公表しています。</p> <p>民泊付近のごみについては、周辺地域の生活環境に悪影響を及ぼさぬよう、届出住宅の場所と状況が特定できれば現場の状況確認を行い、関係各所と連絡を取り合いながら対応しますので、保健所の生活衛生課までご連絡ください。</p>	<p>◇</p>

◇町屋斎場等の火葬場併設民営斎場の費用高騰に対する公的補助および対策について

質問	回答	対応
<p>昨今、火葬費用の格差の問題が話題となっていると思いますが、斎場の公営・民営による原因と、民営に頼らざるを得ない地域の問題があるのではないかと思います。</p> <p>補助金等ではなく、他区との連携を図りながら、都の埋立地を利用することなどを含め、今後どのように考えているかご教示ください。</p>	<p>本件については、町屋斎場等の民営火葬場がある6区において、令和4年度に火葬場経営に求められる公益性等について調査を行い、その結果、公益目的に反する行為は認められなかったと聞いています。</p> <p>また、東京23区で行なっている区民葬儀をご利用いただければ、都営の火葬場と同額で、民営火葬場の施設の一部をご利用いただけます。この区民葬儀では、その取扱業者の指定や取扱料金の設定等を、葬儀取扱業者団体や斎場組合、特別区職員の代表で構成される「特別区区民葬儀運営協議会」にて検討を行なっています。</p> <p>引き続き台東区だけではなく、東京23区全体的なこととして対応してまいります。</p>	<p>—</p>



## 「台東区町会連合会女性部との語る会」

日時：11月18日（月） 午前10時30分から（会 場：区役所1001会議室）

### ◇西町公園のごみ箱について

質問	回答	対応
<p>西町公園は、春は桜、秋は銀杏が黄金色に輝き、保育園児・住民や往来する人々を和ませてくれます。</p> <p>一方、お昼時のお弁当の空容器が籠からはみ出し、カラスが散らかすやら、籠の周囲には紙袋、時にはたばこの吸殻が入っているごみが捨てられています。</p> <p>清掃された後はきれいですが、お昼過ぎは当然のこと見苦しく、衛生面においても、また火でもつけられたら大変な事態になりかねないか心配です。何とかご対応いただけないでしょうか。</p>	<p>お昼時に多くの方に西町公園をご利用いただいておりますが、外から持ち込まれたお弁当容器が多く、ごみ箱から溢れてしまっていることは認識しています。そのため、ごみの回収時間の見直しや、ごみの出し方の注意喚起など、対応を強化してまいります。</p> <p>なお現在、西町公園ではトイレの改修工事のため、ご迷惑をお掛けしています。新しくなるトイレは、男性用・女性用・バリアフリートイレと規模が大きくなります。完成は令和7年の春を予定しており、今しばらく不自由をお掛けしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>※現地を確認し、ごみの回収時間の見直しを行うとともに、ごみの出し方の注意喚起の対応を強化しました。（公園課）</p>	<p>◎</p>

◇ごみ問題について

質問	回答	対応
<p>インバウンドや外来者の多い上野では、ポイ捨てなどのごみの問題が気になります。</p> <p>捨てられてある場所により管轄が分かれるようですが、区民からの相談窓口を1つにしての対応・対策を講じていただければと思います。</p>	<p>区では、まちの美化を促進するため、ポイ捨て防止を呼びかけるマナー啓発キャンペーンや、大江戸清掃隊による自主的な清掃活動の支援など、様々な取り組みを行なっています。</p> <p>ポイ捨てごみ全般についてお困りの場合は、まずは環境課へご相談いただければ、詳しい状況を伺い、関係機関などと連携し対応してまいります。</p> <p>引き続き地域の皆様とまちの美化促進に取り組んでまいりたいと思いますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>	<p>—</p>

◇浅草橋駅東口および江戸通り周辺の駐輪場設置について

質問	回答	対応
<p>浅草橋駅東口は、浅草橋地区の表玄関です。地区内のマンション増加に伴い、自転車利用者が増加し、江戸通りの歩道は無防備に乗り置かれた自転車によって歩行者の妨げになる危険性があります。</p> <p>また、低木の植栽の中や自転車の荷台の中はごみ箱化しており、歩道際の雑草刈りも容易にし難い状況です。</p> <p>昨年も「区長と語る会」で、駐輪場設置や低木植栽の撤去、休憩できる椅子の設置など、住みやすい環境づくり等について要望を提出しましたが、まちづくり計画の中に含まれる要項との回答でした。</p> <p>とは言え実現可能はまだまだ先のようなので、まず身近な問題として、駅前周辺整備として自転車駐輪場設置を実現していただくことが、まちの計画が進行する先頭を切ることになるかもしれません。</p>	<p>浅草橋駅周辺の江戸通り沿いは、自転車の指導整理区域に指定しており、区の巡回指導員による指導や注意喚起をはじめ、撤去作業を重点的に実施している地域です。この地域では、巡回指導員による見回りのうえ、マナー啓発活動を行うとともに、計画的に即日での撤去を実施しています。</p> <p>今後も周辺の歩道を良好な状態に保ち、区民の皆様が安全に通行できるよう努めてまいります。</p> <p>また、浅草橋駅東口周辺への自転車駐車場の設置については、適地が無く、区としても苦慮しているところですが、引き続き設置に向けて検討を進めてまいります。</p>	<p>☆</p>

◇町会主催の花火大会について

質問	回答	対応
<p>青少年部主催で花火大会を実施しています。</p> <p>町会内の路上を使用するため、道路使用許可、消防署への届出、近隣への挨拶等抜かりなく手配をして、安全に実施していましたが、コロナ以前と比べて厳しい条件が出されました。どこのイベントも厳しい基準があるのでしょうか。</p>	<p>今回のご質問の件については、これまで警察署の道路使用許可を得て実施していたものを、今年からは「区の許可も併せて得るように」と、警察から指示があったものと伺っています。</p> <p>区としては、区道上でのイベント等を許可する基準は従前から変わっていません。</p> <p>花火をすることは道路を汚損させる可能性があるため、道路法の定めにより原則禁止としていますが、安全確保をしっかりと行なっていたううえで、「手持ち花火」に限って実施を許可しています。</p> <p>参加者や周辺家屋の安全を確保するうえでも、今後ともご理解いただきますようお願いいたします。</p>	<p>—</p>

◇災害時のトイレ問題について

質問	回答	対応
<p>災害時、在宅での避難が呼びかけられています。町会の女性部としては、上下水道が使用できなくなってしまった際のトイレ問題について特に深刻に捉えており、地域を巻き込んで勉強会を行なっています。</p> <p>災害関係は多種多様な課題があると認識していますが、その中で、台東区は非常時の「移動式のトイレ」を区内随所に設置する予定はあるのでしょうか。また今後、「移動式トイレ」の台数を増やす計画があるのかどうかについても、区民への周知方法を含めて教えてください。</p>	<p>災害時のトイレ対策は、区民の暮らしを守るうえで大変重要な課題であると認識しています。</p> <p>区ではこれまで、避難者用の1日分（5回分）の携帯トイレを備蓄していましたが、今年度緊急防災対策として、3日間使用できるように拡充します。</p> <p>現在、区では保管場所等の課題もあり、「トイレカー」と呼ばれる移動式トイレは所有していませんが、所有する自治体が全国的に増え始めていることは把握しており、東京都に対して導入するよう働きかけているところです。</p> <p>災害対策は区として取り組むべきこともあれば、広域的に取り組むべきこともあるので、今後も都や国とも連携をしながら進めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇歩道をふさぐ植木鉢や自転車について

質問	回答	対応
<p>近所に数多くの植木鉢と喫煙用の灰皿を道路上に設置している家があります。その道路は小学校に隣接しており、歩道と車道を分けるガードパイプの前後に植木鉢が敷き詰められています。そのため、通行人は歩道を歩くことができず、やむを得ず車道を歩くなどしています。</p> <p>また、その隣家も道路上に複数の自転車を駐車し、同様に歩道をふさいでいます。</p> <p>子供たちも多く通行する道路なので、道路管理上、ご対応をお願いしたいです。</p>	<p>道路上に物を置くことは、道路法で禁止されています。そのため区では、指導員による見回りを実施しており、違法な路上設置物や放置自転車に対する指導等を行なっています。</p> <p>今回ご指摘いただいた件については、現場の状況を確認し、路上の植木鉢や灰皿については撤去するよう、所有者に対して指導を行なっています。</p> <p>また、自転車についても持ち主が判明したものについては、道路上に置かないよう注意を行なっており、そのほかのものについては、撤去を警告する札を取り付け、一定期間経過後も札が残っている場合は撤去を行なっています。</p> <p>今後も適宜見回りを行い、区民の皆様が安全に通行できるよう努めてまいります。</p>	<p>○</p>

## 「中学生との語る会」

日時：10月6日（日） 午前10時30分から（会 場：区役所庁議室）

### ◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が考える未来の台東区は、「ボール遊びが安全に、安心してできる公園がたくさんある台東区」です。</p> <p>現在、台東区にある公園でボール遊びなどができる公園は7か所ありますが、私が住んでいる地域には、近くにそういった公園がありません。私が小学生の頃、近くにボール遊びができる公園がなくて、残念な思いをしたのを覚えています。</p> <p>子供にとって「皆が安心・安全に思いきり遊べる公園というものは大事なものである」と私は考えます。また、「ボール遊びができる公園」というものは子供にとって貴重な存在であり、たくさんあれば一気にまちがにぎやかに、笑顔になっていくと思います。</p> <p>改めて、私は「ボール遊びが安全に、安心してできる公園がたくさんある台東区」になってほしいと思います。</p>	<p>現在台東区には、公園が50か所、児童遊園は22か所で、合わせて72か所あります。その中で、ボール遊びができるスポーツコーナーが、7か所あります。</p> <p>「ボール遊びできる公園がたくさんある台東区にしたい」というのは、私も同じ思いですが、台東区は東京23区で一番面積が小さい区で、公園も小さいところが多いですよね。そのため、安全面などを考慮し、新たにスポーツコーナーを設置するには比較的大きな公園に限られますが、この度、地域の方々と様々な検討を重ね、来年には小島公園に新たなスポーツコーナーを整備することになりました。現在、その準備を進めており、完成したらぜひ利用してみてください。</p> <p>公園は子供からお年寄りまで、多くの皆様に楽しく安全にご利用いただけることが理想だと思います。これからも子供たちが安全・安心に遊べて、笑顔があふれる台東区になるよう私も頑張ります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>台東区は外国の方が多いと思います。そこで私は、20年後、台東区は外国の方との交流をして、区民の語学の勉強や異文化を知ることができるようなところになってほしいと考えました。</p> <p>1時間程度交流するイベントを開催して、お互いに言語を交互に教え合ったり、お互いの国の料理を一緒に作ったりして交流できる機会をつくっていくと、語学や異文化について知ることができるころになると思います。</p> <p>今よりも外国の方との交流が盛んになり、外国人住人が増えていくと良いなと思います。</p>	<p>多くの国と地域の方々と交流ができ、様々な言語や文化を学ぶことができれば、とても良い経験になりますよね。</p> <p>国籍などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係で地域の一員として共に生きていくことを、「多文化共生」と言います。台東区でも「多文化共生」の地域社会の実現に向けて取り組んでおり、たとえば、複数の言語での区からのお知らせの発信や、皆さんの中にも参加された方がいるオーストラリアへの海外派遣などもこの取り組みの一環です。</p> <p>今回いただいたご提案も参考にしながら、今後も地域で暮らす外国人と日本人が交流できる機会をつくっていきたいと思います。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>僕は、未来の台東区は「何だかいいまちだよね」と思えるまちになれば良いと思います。台東区が、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展し活気にあふれて繁栄したら良い</li> <li>・福祉が充実したら良い</li> <li>・笑顔や優しさがあふれたら良い</li> <li>・伝統が守られたら良い</li> <li>・安全、安心なまちになったら良い</li> </ul> <p>これら全て僕は必要な改革だと思います。</p> <p>ただ、「～だから良い」「～だからしましょう」という考えでまちづくりをしていくのはキリがないと僕は思います。このような台東区を目指して改革をしていったら、みんな息が詰まってしまうのではないかと思います。何となく、「何だかいいんだよね、台東区」「何だか落ちつくんだよね、台東区」という考えも僕は必要だと思います。</p>	<p>様々なところで、皆さんの暮らしが便利になったり、豊かになったり、笑顔があふれるような、ふと気づいたら「何だかいいなあ」と思える、そんなまちが良いなと私も思います。</p> <p>区では「台東区長期総合計画」を定め、様々な取り組みを行なっています。この計画は、10年後に目指す台東区の姿について書かれており、今回発表してくれた「こうなったらいいな」というものも盛り込まれています。たとえば、「福祉が充実したら良い」ということですが、10月1日に竜泉福祉センターがオープンしました。愛称を「いきいきてらす」と言い、お年寄りをはじめ、様々な世代の皆さんが交流したり、活動したりする場所として整備しました。</p> <p>今後も皆さんに、「何だかいいまちだな」、「台東区に住んで良かったな」と思ってもらえるように、様々な事業に取り組んでまいります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は20年後、常に安心・安全な台東区であってほしいです。</p> <p>私の家から学校までの道は通路が狭く、人が2人並ぶとふさがってしまいます。生徒たちは道をふさがないように気をつけて通行していますが、後ろから自転車が歩道を走ってきて、ぶつかりそうになる場面を何度か目撃しました。ほかにも自転車駐輪禁止の場所に自転車が止まっていることで、歩道を狭くしてしまう場所も多くあります。</p> <p>自転車は交通手段としてとても便利な乗物です。しかし、扱い方を間違えてしまうと迷惑をかけてしまう場面も多くあります。自転車に乗る人や、そうでない人が気持ちよく生活をするができるように、自転車に対しての取り組みを強化してほしいです。20年後、今よりも便利で安心・安全な台東区になってほしいと思います。</p>	<p>自転車は原則、車道の左端に寄って走ることになっており、やむを得ず歩道を通行するときは車寄りの部分を通行し、歩行者の通行を優先しなければなりません。</p> <p>区では、そのような自転車に関する交通ルールやマナーを学んでもらえるよう、「自転車安全利用講習会」を実施しています。</p> <p>また、安全安心な台東区をつくっていくには、区役所以外にも警察の協力も必要不可欠です。これからも、区と警察で連携し、20年後も区民の皆さんにとって安全安心な台東区となるよう取り組んでまいります。</p> <p>また、法律が改正され、令和5年4月から「自転車に乗る人はヘルメットを着用するよう努めましょう」というルールが加わりました。</p> <p>ぜひ、自転車に乗る際はヘルメットを着用するなど皆さんにも協力していただき、一緒に安全・安心なまちをつくっていければと思います。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は、台東区民が安心・安全に暮らせるようになってほしいです。</p> <p>最近では自然災害などが増えてきて命が脅かされています。そのため、命を守るための具体的な施策として、各家庭へシェルターの設置を促すのはいかがでしょうか。</p> <p>私は海外に数年住んでいたことがあり、ここでは各家庭に必ずシェルターが設置されていました。集団で利用できる大きなシェルターもありますが、移動に時間がかかったり、新型コロナウイルスなどの感染症対策が必要になったり、いろいろな課題が生まれます。そのため各家庭にシェルターを設置することにより、台東区民が安心・安全に暮らせると考えます。</p>	<p>今回ご提案いただいたように、災害時に自宅で避難ができれば、少しでもストレスを感じることなく、過ごすことができると思います。</p> <p>区では現在、地震発生時に自宅が倒れていなかったり、洪水によって浸水していなかったりする場合には避難所等に行かずに、自宅で生活を送る「在宅避難」を推奨しています。しかし、在宅避難をするためには、日頃から生活必需品の備蓄が必要不可欠です。</p> <p>飲料水は1人1日3リットルを目安に、3日分用意することが必要とされています。また、当然食料品や、水道が止まってしまったためのために携帯トイレなども必要になります。</p> <p>最近では自然災害が増えてきているので、ぜひ皆さんも日頃から災害への備えを確認していただきたいと思います。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が台東区に暮らして思ったのは、台東区には花火の間屋さんが多いのに、花火のできる場所が少ないと感じました。そのため、リバーサイドスポーツセンターや初音の森を期間と時間を決めて、区民が自由に手持ち花火等をできるようにしたら良いなと思いました。</p> <p>また、台東区には時々ごみが道に落ちている場所があります。これはどこでもあり得ることですが、少しでも減らすため、誰でも参加可能なイベントやごみ箱をたくさん設置し、美しい台東区を目指すということを提案します。</p>	<p>台東区は住宅が密集している所が多く、火の不始末によって火事が起こってしまったり、近隣の住民の方に煙や音で迷惑を掛けてしまったりという点から、花火等の使用を原則禁止しています。しかし、町会などのイベントであれば公園での花火の使用を認めています。</p> <p>今回のご提案については、今後の花火利用の検討の際に参考にさせていただきます。</p> <p>また、路上にごみ箱を設置すると様々なごみを捨てられてしまうなどがあり、台東区では、ごみは各自で持ち帰り、分別して出していただくようお願いしています。</p> <p>ご提案の清掃イベントについては、参加しやすいように工夫するなど、皆さんと一緒に、より美しい台東区を目指していきたいと思っています。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は台東区が10代や20代が積極的に地域行事に参加する、活気あふれる区になってほしいと考えます。幼少期から父の影響で町会行事やラジオ体操に参加してきた経験から、若者が主体となることで、地域がさらに元気になると信じています。</p> <p>これまでの活動においても、若い世代のエネルギーやアイデアが地域に新しい風を吹き込むと感じています。たとえば、地域行事の企画や運営に若者が関わることで、より多くの人に参加しやすくなり、地域全体の活性化が進むでしょう。</p> <p>台東区がもっと魅力的で活気あふれる地域となるために、若者が中心となって地域の未来をつくるのが重要だと考えます。</p>	<p>私も若い方々にもっと地域の活動に参加していただければ、台東区はもっと活気あふれるまちになると思います。そのために区では、若い方々と地域とのつながりを強化するための取り組みを行なっています。</p> <p>その1つに、中高生のボランティアの方と地域の皆さんとが協力して毎年開催している「青少年フェスティバル～下町っ子祭り～」があります。</p> <p>また、町会の活動はイベントを企画するだけではなく、防犯パトロールを行ったり、災害に備えて防災訓練を行ったりするなど、我々住民にとってとても大切なものです。しかし現状、その活動を引き継ぐ人が少ないことが課題となっています。</p> <p>そのため、このような取り組みをこれからも続けていくためには、皆さんのような若い方々の協力が必要です。皆さんに町会などの地域活動に参加してもらえたら、私も嬉しく思います。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私たちは毎日学校に行くためにグリーンロードという橋を渡っています。その橋について気になる点がいくつかあります。</p> <p>1つ目は、フェンスが低いことです。雨天時や混雑時など落下の恐れがあり、危険を感じます。</p> <p>2つ目は、階段についてです。雨の日は滑りやすく、階段の幅が狭いので転んでしまいそうなことがありました。</p> <p>フェンスを高くするなど橋の改善をすれば、より安心・安全に通学ができ、事故のリスクを減らせると思います。このような危険な場所の改善を通し、台東区全体の安全も高めて行ってほしいです。</p>	<p>「グリーンロード」と呼ばれている「凌雲橋歩道橋」は、区やJRで日常的に安全点検をしていますが、フェンスや階段の幅などを大きく変えることは難しい状況です。ただし、階段の段差部には滑り止めテープを貼っており、劣化した部分は貼り替えるなど、随時、利用者の安全に配慮した対策を行なっています。</p> <p>なお現在、凌雲橋の架け替えについて、台東区とJRと一緒に進めています。これが実現すればご指摘の点の多くは解決すると思いますが、費用や工事中の交通の影響など、多くの検討事項があります。</p> <p>通学路をはじめ、区内の危険な場所を改善することが、区民や台東区を訪れる方々の安全・安心につながるというのは、おっしゃるとおりだと思います。私たち大人では気づかないような点もあると思いますので、皆さんの目線から気づいたことがあれば、また教えていただけるとありがたいです。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私はもっと学校の設備が充実している台東区になってほしいです。たとえば、エレベーターをつけたり、仮眠室を作ったりするなど、生徒たちがより学業に集中できるような学校になってほしいと思います。</p> <p>また、学生たちの楽しみの1つである部活にももっと支援してほしいです。そうすることで学校へ行くことがより楽しくなり、学習への意欲が高まることで、将来、台東区に貢献できる人材が育つと思います。</p>	<p>区では、小中学校の設備について、具体的な計画を立てて維持管理や修繕を行なっています。</p> <p>また、様々な立場の生徒の皆さんが快適な学校生活を送れるよう、バリアフリーの視点を大切にしています。エレベーターの設置は、学校のバリアフリー化を進めるにあたって重要なことであり、全校設置に向けて取り組んでいます。</p> <p>また、部活動も学校生活を充実させるのに大切な要素の1つです。ただし、全国的に生徒数の減少が進む中、人数の少ない部活動は休止や廃部になっています。</p> <p>その対策として、部活動を学校単位ではなく地域で行う取り組みを始めており、現在は休みの日に陸上競技の「地域クラブ」を実施しています。今後は他の種目や、現在の部活動にはない種目の「地域クラブ」についても検討し、皆さんが活動できる場を増やしていけるよう取り組んでまいります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が考える「未来の台東区」は、知名度や観光客が増え、もっと豊かになってほしいと思います。今も人気の浅草の浅草寺や、上野の東京国立博物館は残してほしいです。</p> <p>また、オリンピックで活躍したフェンシングの松山選手は、台東区の小学校出身です。このような台東区出身の著名人を増やすために、子供への支援ももっとしてほしいと思います。</p> <p>今も過ごしやすい台東区ですが、将来はもっと有名で生活もしやすくしてほしいです。</p>	<p>台東区には国内外の方から人気のある場所がたくさんあり、区全体に観光客の皆さんが多く訪れています。おもてなしや観光マナーの啓発など、区として受け入れる準備もしながら、今後もたくさんの方々に訪れていただきたいと思っています。</p> <p>また、パリ・オリンピックで金メダルに輝いた松山選手は、台東区のフェンシングクラブで子供のころから練習をして、世界の頂点に立ちました。松山選手が台東区で競技を始めて世界で活躍されているように、台東区の子供たちが様々なところで活躍できるよう、これからもその環境づくりに取り組んでまいります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は20年後の台東区に、道にごみが1つも落ちていないまちになってほしいです。</p> <p>最近コロナウイルスが落ち着いてきたこともあり、外国人観光客がこのまちに多く訪れるようになりました。それはとても良いことだと思うのですが、それに伴って道端にごみが落ちていたり、公園のごみ箱があふれかえっていたりする様子を見かけることが増えました。このように、まちの景観が悪くなると、台東区のイメージが損ねられてしまうと思います。</p> <p>そこで、区内の中学生がまちのごみを拾うボランティア活動を行ったり、まちのごみ箱の設置数を増やしたりすれば、落ちているごみの数も減少し、おのずときれいな状態が保たれると思います。</p> <p>これからは、台東区が今以上に美しいまちになるために、自分もボランティア活動などを行なって貢献していきたいと思っています。</p>	<p>最近国内外からの観光客の方が増えてきており、中には、マナーの理解が不十分で、ごみを道に捨ててしまう方もいらっしゃいます。</p> <p>そのため台東区では、パンフレットや区の公式ホームページでのお知らせなどを作成し、日本の基本的な観光マナーを知ってもらう取り組みを行なっています。</p> <p>また、「ボランティア活動を行う」という、行動に移す気持ちを持っていただいていることを大変嬉しく思います。まちの美化活動は、まちをきれいにするだけでなく、地域に愛着をもつことができる重要な取り組みだと思っています。</p> <p>まちをきれいにする取り組みの1つである「大江戸清掃隊」は、学校だけではなく、個人の方でも登録することができます。登録後は、清掃用具や清掃隊お揃いの半纏、たすきを使用することができます。ぜひ、登録していただき、20年後にごみが1つも落ちていない台東区の実現に向けて、一緒に取り組んでいきたいと思っています。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>夏休みに海外派遣団の一員として、オーストラリアに行かせてもらいました。日本ではできない初めての体験をたくさんさせてもらい、「台東区の中学生で良かった」と心の底から思いました。</p> <p>しかし、もし行けていなかったらすごく悔しかったと思います。台東区に行きたいと希望する中学生全員が行けたら、皆の経験値が上がって、みんなも「台東区の中学生で良かった」と思えるのではないかと思います。</p> <p>また、台東区の中学校にサッカー部がなく、周りの大人の人たちにたくさん相談しました。今ようやく中学生フットサルクラブを作ってもらうことができました。本当は部活動として活動したいのですが、顧問や場所等の問題があり、難しいと言われました。</p> <p>中学校は3年間しかありません。台東区の中学生が地域でやりたいことができる、「子供の願いが叶うまち」をつくってほしいです。</p>	<p>「中学生海外短期留学派遣」に参加されたということで、海外での生活や交流を通じ、日本にいただけでは味わえない経験ができ、充実した夏休みになったと思います。</p> <p>この海外派遣は「外国人へ尊敬の気持ちを忘れず、また外国人から信頼される人になってもらいたい」という思いから行なっている取り組みです。ぜひオーストラリアでの生活で思い出に残っていることや、感じたことなどをお友達にお話ししてみてください。</p> <p>また、区では部活動も含め、中学生の皆さんがやりたいことを思いきりできるような環境づくりに努めています。その全てを実現させることは難しいのが現状です。ただ、今後も「こんなことをしてほしい」ということがあれば、聞かせてもらえればと思います。そして、「台東区の中学生で良かった」と思っていただけのように、今後も取り組んでまいります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>今は、あまり区民の意見を聞く場が少ないと思います。私が知らないだけで実際はたくさんあるのだとしたら、知らない人が多いと思います。そのため、そういう区民の意見が聞けるような場（アンケートの紙を置いておくなど）を増やし、その場をみんなが知っているような台東区になってほしいなと思います。また、そのような場が増えても、かたい感じだとみんな意見が言いにくいと思うので、気軽に意見が言えるような環境をつくるのが大切だと思います。</p> <p>そして、子供が意見を言えることも大切だと思います。今公園でボールを使うことは禁止されているのに、時間を決めておじいちゃんやおばあちゃんはゲートボールをしています。そのため、子供も時間を決め、ボールを使えるようにしたら良いと思いました。</p> <p>こういう意見を言える場をつくり、なるべく多くの人々が納得するような地域づくりに力を入れてほしいと思います。</p>	<p>台東区では、区民の皆さんから区への取り組みに対して意見や提案をしてもらい、「区長への手紙」という制度があり、区のホームページや専用のはがき、電話、窓口に来てもらうなど、様々な方法でご意見をいただいています。</p> <p>専用のはがきは、区内の様々な場所で配布しており、お送りいただいたものに対して回答をしています。</p> <p>いただくご意見は大人の方からのものが多いですが、今後、より台東区を良くしていくためには、中学生の皆さんも含めた、幅広い年代の方からご意見をいただくことが重要だと思います。</p> <p>本日も皆さんから将来の台東区について発表してもらっていますが、これからも皆さんから様々なご意見やご要望をお聴きし、様々なことに取り組んでまいります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>20年後の台東区は、安心・安全で魅力あふれるまちになってほしいです。たとえば、今進められている無電柱化を台東区全体に広げ、完全なものとなってほしいです。なぜなら、子供の頃、妹が電柱に顔をぶつけてしまったからです。また、道を滑らかにし、幅を広げてほしいです。道がガタガタで転んだときに、怪我が大きくなってしまったことがあったからです。</p> <p>このように、車椅子やベビーカーを利用している人、小さな子供から高齢者の方まで安心できるまちになってほしいです。</p> <p>そして、上野や浅草などでは昔ながらの雰囲気を残しつつ、耐震性を高め、長く住み続けられるまちになってほしいと思います。</p> <p>誰もが笑顔で過ごせる台東区になってほしいと思います。</p>	<p>歩行者はもちろん、車いすやベビーカーも移動しやすい道路にすることは、とても重要です。</p> <p>お話のあった無電柱化によって、大きな地震が発生したとき、電柱が倒れて道がふさがるといった危険もなくなり、防災機能の強化にもつながります。そのため、台東区でも2020年度から2029年度の間、具体的な計画を立てて取り組んでいます。しかし、良いことがある反面、お金や時間がかかってしまうという課題があるため、道路の中で優先順位をつけて取り組んでいます。</p> <p>また、誰もが安全に安心して移動できる道路にするため、歩道の段差を小さくしたり、平坦にしたりする、バリアフリー化に取り組んでいます。</p> <p>これからも、20年後に安心・安全で暮らせる台東区になるよう、道路の整備に取り組んでまいります。</p>



## 「二十歳の集い実行委員会との語る会」

日時：10月29日（火） 午後6時30分から（会 場：区役所庁議室）

### ◇上野周辺の駐輪について

質問	回答	対応
<p>上野中央通りのヨドバシカメラ側の歩道には、よく路上駐輪の自転車が多くあり、歩きづらだけでなく、強風等で自転車が散乱しているところをよく目にします。</p> <p>駅前だけではなく、あの部分にも新しい駐輪場を作って、整理しないのでしょうか。そもそも駐輪可能な部分なのかどうかも知りたいです。</p>	<p>この場所は、指導整理区域として自転車を放置してはならない区域に指定しており、近隣には自転車駐車を用意しています。</p> <p>この場所では、指導員を毎日巡回させ、放置自転車にマナー札や移送札を貼り、一定期間経過後、撤去を行なっています。現在も毎週1回以上撤去を行なっていますが、区としてもこの地域に放置自転車が一定数あることは認識しています。</p> <p>なお、歩道上への駐車場整備は、交差点および横断歩道から10m以上離さなければならぬなどの諸条件があり、当該場所への設置は困難な状況となっています。</p> <p>引き続き駐車場設置に向けた場所の検討を進めていくとともに、効果的な手法を検討し、放置自転車対策を進めてまいります。</p>	<p>△</p>

◇区の施設の充実性について

質問	回答	対応
<p>台東区では多くの観光客でにぎわっていますが、区の住民がより過ごしやすい台東区を目指していただきたいです。</p> <p>2023年度、台東区に住む方は増加傾向であり、通勤通学の際に使う駅前駐輪場が不足している印象があります。また、外食チェーン店やレジャースポットに行くためには区外へ足を運ぶ必要があります。区内にそのような場所が少ない印象があります。その他、医療機関の充実さにも欠けていると感じています。</p> <p>より過ごしやすい台東区のために、今後どのようなことを目指していますか。</p>	<p>今回は区の立場でお答えできる各施設の現状について、お話しさせていただきます。</p> <p>まず、「駐輪場」についてです。区内では定期利用と1日利用が可能な自転車駐車場や、抽選で利用者を決定する自転車置場等を整備しています。また現在、自転車の全体数を減らしていく方向で、自転車を自由に貸出・返却できるシェアサイクル事業を推進しています。このシェアサイクルポートは年々増加しており、区民や来街者の方々にご利用いただいています。</p> <p>次に、「医療機関」についてです。区内には、中核病院として高度医療を提供する「永寿総合病院」や、高齢者の慢性期医療や総合的なリハビリテーションを提供する「区立台東病院」があります。また、近隣区には大学病院等があり、区内の医療機関の多くはそのような病院と連携して、地域の医療ニーズに対応する体制を整えています。</p> <p>最後に、「区の施設」についてです。現在、北上野2丁目に新しい福祉施設の整備を計画しています。この施設では、子育て世帯や子ども、若者を支援するための「交流の場」や「総合相談窓口」を整備し、学校や家庭以外の居場所の提供や相談対応を行います。</p> <p>今後も、皆さんにとってより過ごしやすいまちになるよう、区有施設の充実にも努めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇台東区の新しい観光事業について

質問	回答	対応
<p>近年、外国人旅行者が増加している中、浅草や上野は大きなにぎわいを見せていますが、今後、台東区はどのエリアを中心に観光開発していきたいかを、政策を交えてお聞きしたいです。</p>	<p>おっしゃるとおり、台東区には多くの観光客の方がお見えになっています。浅草や上野以外にも区内には魅力あふれるスポットが多くあり、現在も多くの観光客の方に、区内全域を訪れていただいています。</p> <p>その中でも、特に来年は、台東区が舞台となる大河ドラマ『べらぼう～蔦重栄華之夢噺～』が放映されることから、浅草北部地域への回遊を促進する事業を実施する予定です。具体的には、浅草に大河ドラマ館を開設して、地域の魅力を紹介するほか、千束にはゆかりの地巡りの拠点となる「江戸新吉原耕書堂」を整備し、さらに周遊バスも運行します。</p> <p>今後も皆様のご協力をいただきながら、観光客に向けた情報発信やイベント開催等を通じて、区全体の回遊や分散化の促進に取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇台東区の未来像について

質問	回答	対応
<p>近年、浅草や上野は日本人だけでなく、海外からの観光客でにぎわっていますが、区長さんが思い描いている将来の台東区の姿とはどのようなものでしょうか。</p>	<p>台東区では、概ね20年後の台東区の将来像を描いた「基本構想」を策定しており、その将来像として、「ひと」と「まち」が輝き、そして世界に輝くという思いを込めて、「世界に輝く ひと まち たいとう」を掲げて、その実現を目指しています。</p> <p>そして、その将来像を実現するために4つの基本目標があり、1つ目が「あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現」、2つ目が「いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまちの実現」、3つ目が「活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現」、4つ目が「誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現」としています。</p> <p>これが私の思い描く将来の台東区の姿であり、今後もその実現に向けて、様々な取り組みを行なってまいります。</p>	<p>—</p>

◇選挙の投票を促す手紙について

質問	回答	対応
<p>選挙の際に「選挙のお知らせ」が届きますが、その中に投票を促すようなものを同封したら良いのではないのでしょうか。</p>	<p>現在、各世帯主あてに届く「選挙のお知らせ」に、「広報たいとう号外 選挙特集号」のチラシを同封してお送りしています。そこには、投票できる方の条件や期日前投票所の案内、不在者投票の手続など、実施される選挙に関する様々な情報を掲載しています。</p> <p>これまでは、それぞれのお宅のポストなどへ直接配付していましたが、他のチラシと紛れてしまい、廃棄されてしまう状況が見受けられました。そこで、より確実に区民の皆様の目に触れるようにするために、「選挙のお知らせ」に同封することにしました。</p> <p>区民の皆様に投票所へ足を運んでいただけるよう啓発活動を行っていくことは、大変重要なことなので、今後もより効果的な啓発方法を考えてまいります。</p>	<p>—</p>

## 「20～40代の区民との語る会」

日時：2月20日（木） 午後7時から（実施形態：オンライン）

### ◇外国人観光客向けの防災対策について

質問	回答	対応
<p>外国人観光客向けの防災対策について懸念しており、その対策の強化についてお聞きしたいと思います。</p> <p>具体的には、外国人観光客向けの防災対策の強化（被災時の必要物資の備蓄の強化、被災後の帰国の支援などのケアの充実化など）が必要なのではないかという点。そして、その財源として、受益者負担の原則から宿泊税等のかたちで、台東区内に宿泊する観光客から広く薄く徴収することについて、見解をお聞きしたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(30代 男性)</p>	<p>外国人観光客を含む帰宅困難者対策としては、一時滞在施設の確保や、食料、毛布等の備蓄をしています。また、上野や浅草では、帰宅困難者対応訓練を実施するなど、様々な対策を行なってまいりました。</p> <p>さらに、令和7年度には、新たに「浅草地区帰宅困難者対策推進協議会」を設立し、避難誘導指針の策定に向けた検討を開始し、取り組みを強化しています。</p> <p>多くの観光客が訪れる台東区は、都や事業者などの関係機関と協力しながら、帰宅困難者対策を推進してまいります。</p> <p>また、宿泊税については、平成14年に東京都で導入され、観光振興施策の財源として活用されています。</p> <p>台東区においては、他自治体の宿泊税の活用状況も参考に研究してまいります。</p>	<p style="text-align: center;">☆</p>

◇少子化対策について

質問	回答	対応
<p>子供をたくさん産んでいますが、小学校入学や中学入学のお祝いだけでは、なかなかメリットを感じづらいです。子供をたくさん育てるためには、やはりお金が必要だと思っているので、少子化対策として、具体的に金銭的な支援で何か考えていることはありますかでしょうか。</p> <p>また、小・中学生向けに、少子化対策に向けてもっとライフプラン作成などの学びを深める機会の提供があると良いと思いますが、何か行なっていることはありますかでしょうか。</p> <p>(40代 女性)</p>	<p>区では、今回お話があった「にぎやか家庭応援プラン」のほか、子ども医療費助成や児童手当、出産した全ての区民へ一律5万円を助成する出産費用助成等、各種手当の支給や助成をすることで、妊娠・出産、子育てに伴う家庭の経済的負担の解消、軽減を図っています。また、安心して子育てができるよう、相談支援体制の充実にも取り組んでいます。なお来年度からは、妊婦の方にお渡ししていたWebカタログギフトを、現金支給に変更する予定です。</p> <p>区としては引き続き、子育て当事者が経済的な不安や孤立感を抱いたり、仕事との両立に悩んだりすることなく、身近な場所でサポートを受けながら、安心して子供を育てることができるよう、子育て支援施策の充実に努めてまいります。</p> <p>また、区内の小・中学校では、学年ごとに学校、家庭および地域での学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返る活動を行なっています。児童・生徒にとってこの活動は、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする機会となっています。</p> <p>さらに中学校では、家庭科や社会科等の教科を通して、ライフプランについて学習したり、立志式や職場体験を実施したりするなど、自分の将来について考える学習を進めています。</p>	<p>—</p>

◇学校の建替え工事に伴う子供の運動不足への影響について

質問	回答	対応
<p>小学校の建て替え工事の影響もあり、外で体を動かせる場所が少ししかないと感じています。そのため、子供の運動不足が心配です。</p> <p>そもそも、なぜ区立小・中学校の校庭がこんなにも狭いのでしょうか。また、隣接する公園を小・中学校として使用しないのはなぜなのでしょう。</p> <p>(40代 女性)</p>	<p>台東区の多くの学校が、関東大震災や第二次世界大戦後の土地が不足する中で整備されており、その後も校庭を広げるための新たな土地の確保が難しく、現在に至っています。</p> <p>また、学校によっては、移動時間や安全管理などを考慮したうえで、隣接する公園を使用している場合もあります。しかし、公園は園庭のない保育園や一般の方も利用しているため、常時、使用することは難しい状況です。</p> <p>学校を建て替える際には、近隣の小・中学校の校庭や体育館をはじめ、様々な施設を活用して体育の授業を実施するなど、運動する機会を可能な限り確保しています。</p> <p>また、教育活動全体を通して運動に親しみ、自ら体力を高めていく習慣を身に付けられるような指導を各校において展開していますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。</p>	<p>—</p>

◇学校給食・保育園入園の選考基準・避難所について

質問	回答	対応
<p>①子供が給食を楽しみにしていますが、昨今の食料品の高騰で財政も厳しいと思います。一番危惧しているのは、無償化によって予算を優先して質を落とし、子供たちがおいしい給食を食べられなくなることです。</p> <p>②子供が保育園に入園するときに、一度待機児童になりかけた苦い経験があります。保育園入園の選考には、居住年数や勤務が台東区かどうか、持ち家かどうか、ふるさと納税で別の自治体の支援をしていないかなど、台東区への貢献度も選考基準に入れていただきたいと思えます。</p> <p>③路上生活者を避難所で拒否した問題が2019年にありましたが、その後どのような対応をしているのでしょうか。 (40代 男性)</p>	<p>まず、学校給食についてです。 給食食材の予算については、物価の上昇分を見込み、年度ごとに増額して対応しています。国産食材や地場産物を中心に、多様な食材を取り入れて献立を工夫するなど、食育の推進にも力を入れながら、引き続き質の高い学校給食の提供に努めてまいります。</p> <p>続いて、保育園入園の選考についてです。 今回ご提案いただいた「区への貢献度」は、その指数化が難しく、選考基準に加えることは難しいと考えています。 入園の選考では、保育の必要性や児童のおかれている状況、家族構成などを指数化し、指数の高い児童から順に入園を決定しています。今後の入所調整についても、公正・公平な選考となるよう努めてまいります。 最後に、風水害時の避難所における路上生活者の対応についてです。 令和元年台風19号の対応における課題を踏まえて、「風水害対応方針」を策定しました。その中で、路上生活者への対応として、台東区役所本庁舎と台東区民会館を緊急滞在施設として開設します。さらに、関係機関と協力し、路上生活者に周知するためのチラシを配布するなど、対策を定めています。 今後とも、様々なニーズを持つ避難者に対して適切な対応ができるよう、災害対策を推進してまいります。</p>	<p>—</p>

◇子育て支援について

質問	回答	対応
<p>他区では所得制限無しで学用品の全額無償化が始まっています。台東区でも同じようになればと感じていますが、検討いただくことは可能でしょうか。</p> <p>1つ1つは少額ではあるものの、学用品ほか細々した支払いが多く、その結果負担が大きいと感じています。学用品等、学校で使用するものは区で負担することで、将来の子供への投資につながると思います。</p> <p>(40代 男性)</p>	<p>各家庭において、小・中学校での教育活動に要する費用は増加傾向にあり、学校で使用する教材や、学用品等に係る費用の割合が大きい状況です。</p> <p>区ではそれらを支援するため、来年度予算に補助教材、学用品等に係る費用を計上しています。区立小・中学校、および区内在住の特別支援学校に通う児童・生徒が対象であり、ドリル・資料集等の補助教材や、リコーダー・習字道具等の学用品が支援の対象となります。</p> <p>区としてはこの取り組みを通して、保護者の経済的負担を軽減し、教育環境の充実と子育て支援のさらなる拡充を図ってまいります。</p>	<p>◇</p>

◇子育てに協力的な区内企業に対する政策について

質問	回答	対応
<p>子供が産まれると私たちの生活は一変します。9時から18時まで働き、子を迎える行き、家事をして、子が就寝するのは22時を過ぎることも珍しくないと感じます。睡眠時間の減少は子供の成長にも悪影響なのは言うまでもなく、親として仕事との両立がこんなにも大変では、第二子をもうけようと思わなくなります。</p> <p>企業としては1日8時間労働が当たり前で、それができる人が「正社員」です。しかし、18時まで働いてはまともな子育てができないのが現状です。定時が17時の企業があれば良いのと思うことがあります。</p> <p>1日8時間より短い勤務時間でも正社員でいられる企業に対して、子育て協力企業として優遇措置を取るなど、何か企業への政策を考えていただけませんか。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p>	<p>私も、生活と仕事の両立については重要な課題であると認識しています。</p> <p>現在、区では、区内の中小企業を対象に「ワーク・ライフ・バランス推進企業認定事業」を行なっています。「子育て支援」、「働きやすい職場づくり」、「介護支援」の分野ごとに認定を行なっており、認定されると、広報たいとうや区公式ホームページ等で認定企業の取り組みを紹介したり、区の中小企業融資のあっせん等を受けたりすることができます。</p> <p>また、認定された企業は、短時間勤務やフレックスタイム制等で、勤務時間について柔軟に対応している企業も多いです。</p> <p>現在は31社を認定しており、認定企業については、区内で配布するパンフレットのほか、区公式ホームページでもご覧いただけます。</p> <p>今後も皆様が仕事と生活を両立しながら、いきいきと働き続けられる職場の実現に向けて、ワーク・ライフ・バランスの意識啓発に取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇西町公園について

質問	回答	対応
<p>西町公園をよく利用していますが、1歳の息子が公園で転んだときに、顔の目の前にたばこの吸い殻が4, 5本落ちていました。禁煙が全く守られておらず、子供を安心して遊ばせる環境になっていません。他の親からも西町公園は喫煙者だらけともっぱらの評判です。中核病院に隣接している公園がこのような状況でよろしいのでしょうか。</p> <p>また、公園の遊具がどんどん減っています。丸太切り株けんけんばが撤去されたら、去年は滑り台も撤去されました。トイレの改築が実施されていますが、公園の再整備の設計と工事をお願いします。なお、複合遊具はユニバーサルデザインに配慮した物が望ましいです。</p> <p style="text-align: right;">(40代 男性)</p>	<p>現在、西町公園では、トイレの改修工事を行っており、近隣にお住まいの皆様には大変ご迷惑をお掛けしています。</p> <p>この度のトイレ工事では、男性用・女性用と別々にトイレを設けるため、トイレの敷地面積が大きくなります。この工事を安全に行うために、一時的にトイレ周辺の遊具を含め、現在、工事範囲を仮囲いしています。なお、3月中にはトイレ工事が完了する予定で、工事後は再び遊具をご利用いただけますので、今しばらくお待ちください。</p> <p>また、令和6年に実施した遊具の点検により、児童用の滑り台の劣化が進んでいたため撤去しました。子供たちにとって大切な遊び場が減ってしまい、保護者の皆様にもご心配をお掛けしています。なお、新しい遊具については、周辺の公園にある遊具とのバランスを見ながら、子供たちに楽しんでもらえる遊具の設置に向けて、現在、検討を進めています。</p> <p>次に、公園は利用者が多岐にわたるため、禁煙とはしていませんが、喫煙者が多い公園や、他の公園利用者に迷惑となっているなどの相談を受けた公園では、巡回警備職員による注意・指導を行なっています。さらに、喫煙に対する注意喚起の掲示を大きな文字や強調して表示するなど、工夫してマナーの啓発に努めています。</p> <p>今後とも喫煙マナーなど公園利用マナーの向上を図るため、啓発等を行なってまいります。</p>	<p style="text-align: center;">☆</p>



## 「立志式に携わる中学生との語る会」

日時：3月9日（日） 午前10時から（会場：区役所1001会議室）

### ◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>この立志の宣言を書くにあたり、私は、まだはっきりとした夢を持っておらず、行き詰まっていました。</p> <p>そんな中、ある本で「雨垂れ石を穿つ」ということわざに目をひかれ、調べてみると、小さな雨粒でも年月を積み重ねていけば、いつかは石を穿つような大きな水の流れになるという意味だと知り、このことわざを努力に置き換え、日々の生活から研鑽を積み重ねていきたいと思いました。</p> <p>目標を掲げた以上、このことわざに恥じぬよう、努力していきたいです。</p>	<p>「雨垂れ石を穿つ」、今発表してくれたように、「小さな努力でも根気よく続けてやれば、最後には成功する」ということわざです。</p> <p>今後、具体的に「こういう職業に就きたい」や、「こういう進路に進みたい」という大きな目標ができると思います。そのときに大事になってくることは、小さな目標を立てて、1つずつ取り組んでいくことです。時には、自分にとって苦手なこともあると思いますが、それを乗り越えられれば、自分の夢や目標に一步近づきますし、自分の成長にもつながります。</p> <p>今回、「日々の生活から研鑽を積み重ねていきたい」と発表してくれたので、どんな困難にも立ち向かって行けると 생각합니다。これからも、このことわざを胸に頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私の将来の夢は、国内にある外資系の会社で働くことです。そのきっかけは、お父さんのふるさとのインドネシアのバリ島に帰省した時のことです。そこで日本とバリ島での生活の仕方に違いがあり、他の文化も見たいと興味を抱くようになりました。</p> <p>本格的な夢になったのは、私が小学校高学年のときに何気なくつけたテレビ番組で、外資系についていろいろと取り上げられていたからです。様々な文化に触れ、語学力の向上をさらにしたいと考えているので、私に合っていそうだなと思いました。</p> <p>しかし、今のままでは外資系の職に就くのは難しいと思います。そのため、私は残りの中学校生活で学習習慣を身につけることや生活習慣を改善することに力を入れ、めげずに頑張っていきたいです。</p>	<p>将来の夢が外資系の会社で働くということで、素敵な夢をお持ちですね。</p> <p>外国の様々な文化に触れると日本との違いを感じることができ、自分にとっての“当たり前”が変わることがあります。そのためには、英語などの言語でコミュニケーションが取れたら良いですね。</p> <p>またそのような場面では、日本に関する質問をされることも多々あります。そのときに答えられるようにしておく、会話も弾みますし、自分にとっても日本という国をより理解する機会になると思います。</p> <p>外資系の会社で働くためには学ばなくてはならないことも多く、大変だと思います。しかし、将来は日本と外国とを結ぶ架け橋のような人になってもらえたらと思いますので、今後も頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>立志の宣言を書くにあたり感じたことは、自分の今までの経験の中から成長した点、自分のまだ足りない点を改めて知れる良い機会になったと感じました。将来についてじっくり考えたことは多くなかったのですが、この立志を通して考えることができたと思います。</p> <p>作文を書いて自分の目標を明確にすることによって、それを達成するための強い意思ができ、未来への自分の一歩になったと思います。</p> <p>この立志の経験があることによって、自分の人生の中で挫折しそうになったときも、目標を思い出して努力を続けられると思いました。</p>	<p>今回の立志の作文が、自分の成長した点と足りない点を知れる良い機会となったようですね。また、「人のことを助けられる人になる」ことが目標とのことで、素晴らしい目標だと思います。</p> <p>人助けをすると、自然と自分も嬉しい気持ちになりますよね。周りの人々に温かい心で接することは、結果として自分自身も幸せになれる道だということを理解しているのは、素晴らしいことです。</p> <p>人を助けることは、時には難しいこともあるかもしれませんが、今回立てた目標を大切にしながら、努力を続けられるように頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>立志の宣言を書きましようと言われ、私はとても困ってしまいました。私にはまだ、具体的な夢や目標がないからです。</p> <p>そこで、今まで頑張ってきたこと、考えたことを振り返ってみました。私は明確な目標がないからこそ、将来のために今からいろいろなことに挑戦し、努力していこうという気持ちで頑張ってきました。振り返ることで、両親や先生、ほかにもいろいろな人たちに支えてもらっていたことを再確認することができました。</p> <p>これからも、支えてくれる人たちに感謝しながら、努力していこうと思います。</p>	<p>まだ具体的な将来の夢や目標がないとのことですが、今から将来のために様々なことに挑戦し、努力しているということは、素晴らしいことだと思います。</p> <p>また委員会に入ったり、派遣事業の代表生徒になったりして、積極的に様々なことに挑戦してきたようですね。今後もいろいろなことに挑戦をしていく中で、上手くいくことも、時には上手くいかないこともあると思いますが、きっとその経験は自分をさらに成長させてくれるものだと思います。</p> <p>今回発表してくれたように、周りの人たちへの感謝を忘れず、これからも様々なことに挑戦していきましょう。そしていつか、素敵な将来の夢が見つかるよう、私も願っています。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>今回の私の立志は、私のこれからの生き方の道しるべのようなものです。</p> <p>この先の未来、何をすべきかわからなくなったときに自分自身の助けになるように、具体的な職業などではなく、心の在り方について書きました。</p> <p>私がこの先、どんな人生を歩むのかわかりませんが、もし私が何かに迷ってしまったときは、この立志の宣言が私の助けになってくれると思っています。</p>	<p>今後の自分の“軸”となるような立志の宣言ができたとのことで、素敵な経験になったようですね。</p> <p>自分の“軸”を持っている人は、自分自身のことをよく理解している人だと思います。おそらく今回、これまでの自分のことをいろいろ考えたり思い出したりして、ご自身のことを理解されたのではないのでしょうか。</p> <p>また、そういう人は、周りの人と自分の考えが違うことも理解しており、人のことを尊重して大切にできる人だと思います。おそらく、普段からご家族や周りのお友達のことも考えながら生活されているのではないのでしょうか。</p> <p>これからも今回の立志の宣言の内容を大切にしながら、人のためにも行動できる人になっていただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は今まで将来の夢がなかったです。好きなものはあってもそれを職にしたいと思ったこともありませんでした。</p> <p>そうやって漠然と生きていたときに、能登半島地震が起こりました。自分が何もできない悔しさと、犠牲者が出た悲しみから、私は石川県を復興させる目標ができました。</p> <p>今の私には石川県を復興させることはできませんが、目の前のことを一生懸命行い、いつかもとの景色が見られるようにしたいです。</p>	<p>能登半島地震のときには、東京都と23区が連携して被災地に物資の支援や職員の派遣を行い、台東区からも石川県輪島市などに職員を派遣しました。</p> <p>地震が起きたときに県内にいらっしやったとのことで、とても怖い思いをされたと思います。しかし、そのような大変な経験を通して、石川県を復興させるという目標ができたとのことで、逞しく感じました。</p> <p>地震発生から1年が経ちましたが、現地はまだまだ十分に復興が進んでいないと聞きます。</p> <p>また、目標の実現のためには、様々な知識や経験を身につけなければならないと思います。しかし、あの地震を経験したからこそ、人一倍その思いは強いのではないかと思いますので、これからもぜひ頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>僕は誰かの目標となれるような人になることが夢です。その夢を叶えるために、その第一歩として立志の作文を書きました。</p> <p>作文を書くことで夢が明確になり、夢に向かってまず自分が今何をすべきかを考えるようになりました。だから、僕はその考えたことを考えるだけで終わらせるのではなく、しっかりと実行できるように頑張りたいです。</p>	<p>「目標とされる人」とは、「人に良い影響を与えられる人」だと思います。我々も「この人みたいになりたい」と思うことがありますが、何かしら良い影響を受けたからこそそのように感じるのだと思います。</p> <p>将来は歌手として、誰かの「目標とされる人」になりたいとのことで、歌を届けながら人に良い影響を与えていく歌手というお仕事は、素敵な職業だと思います。</p> <p>今回、立志の宣言をしたことでより強く「歌手になりたい」と思われたのだと思いますので、これからも夢に向かって頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言を書くにあたって、これまでの自分とこれからの自分について考えました。</p> <p>私は小学6年生の頃、保健室登校でした。その頃は、本当に毎日がつらくて、弱い自分が嫌いでした。そんなとき、同じ保健室登校だった友達の力になれたことがあり、それがきっかけで、もっと強くなり、多くの人の力になりたいと思うようになりました。</p> <p>「弱い自分から強い自分へ」、そのためにできること、やれることを全力でやっていきたい。その思いをこの立志の宣言にしたためました。</p>	<p>ご自身が大変だった時期でも友達の力になり、今度は「多くの人の力になりたい」と思われているとのことで、素晴らしく思いました。</p> <p>将来は自衛官になりたいとのことで、自衛官のお仕事は災害時に救援活動を行ったり、時には海外に行って国際平和のために活動したりすることもあり、とても大変なお仕事です。しかしその分、多くの人の力になることができ、やりがいのある職業だと思います。</p> <p>そして本当に“強い人”とは、自分の弱い部分を理解しつつも、困難に何度でも挑戦できる人だと思います。これからも様々なことに挑戦していただき、将来の夢に向かって頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の作文を書く際、将来の夢であるデザイナーをテーマとしました。</p> <p>私の両親はデザイナーをしています。「働く人へインタビューをする」という学校の取り組みでも、父に話を聞きました。父は、「デザイナーは人のことを考えて、要望に応える仕事」だと話していました。</p> <p>その後、福祉関連の施設で職場体験をさせていただきました。最初はわからないことだらけでしたが、利用者の方々に喜んでもらえることができ、私も喜びを感じました。</p> <p>その経験から、人のことを考えるデザイナーという職業がより身近に感じられました。そして、その夢を立志式で宣言することで、自分の本当にやりたいことを再確認することができました。今後も夢に向かって努力をしていきたいです。</p>	<p>人からの期待や要望に応えられると、とても嬉しいですね。私も区長として、区民の方からの期待や要望に応えられよう努力をし、それが叶ったときには大きな喜びを感じています。</p> <p>また、ご両親の影響で、デザイナーというお仕事小さい頃から身近にあったようですね。</p> <p>将来は本に関するデザインをしたいのですが、本屋さんで本を選ぶ理由として「表紙が気に入った」ということもよくあると思います。</p> <p>デザインの勉強は大変だと思いますが、身近にアドバイスをもらえるご家族もいると思いますので、夢に向かって頑張ってください。そしていつか、ご自身がデザインした表紙の本が、本屋さんで並ぶことを私も楽しみにしています。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>立志の宣言を書くにあたって、私は自身が歩んできた人生を思い返しました。</p> <p>そのとき、すぐに浮かんできたのがバレーボールのことだったのです。立志の宣言を書いているときも、今読み返しても、やはりバレーボールばかりだった生活は理不尽なことが多く、苦しいことだったたくさんあったと思わずにはられません。しかしそのおかげで、私は強くなれたのだと言い切れます。</p> <p>だからこそ、私は逃げずに様々なことに挑戦し、そして今よりもっと強くなりたいです。</p>	<p>バレーボールでの苦しい経験を乗り越えてきたことで、強くなってこられたようですね。</p> <p>人は皆、嫌いなことや苦しいことに目を背けたくなくなってしまいます。ただ、そのときにちゃんと目を向けるか・向けないかでは、その後の自分の成長に影響してくると思います。初めは上手くいかないことも多いと思いますが、「じゃあ次はこうしてみよう」と考えて取り組むことで、新しい知識や技術が身につく、それが自分の成長にもつながり、最後には良い方向に向かうと思います。</p> <p>現在、部活のキャプテンを務められていたり、大会でも素晴らしい成績を残されていたりするとのことで、これまでバレーボールに真摯に向き合い、努力してきた結果であると思います。これからも大変なことがあると思いますが、ぜひ挑戦する気持ちを忘れずに、頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>幼い頃、私は挑戦を恐れ、行動を避けていました。しかし「迷ったらGO」という先生の言葉に出会い、行動の重要性を学びました。</p> <p>その言葉に勇気もらい、小学5年生で代表委員、中学校では学級委員や生徒会長に立候補し挑戦を始めました。不安もありましたが、成長を実感し、責任感やリーダーシップを学びました。</p> <p>今でも「迷ったらGO」という言葉は、私の人生の大きな指針となっています。</p>	<p>先生からいただいた言葉を胸に、様々なことに挑戦されてきたようですね。</p> <p>恐れずに挑戦していくことを表す言葉とのことで、挑戦をすることは勇気があることですし、それが苦手なことであれば、より一歩が踏み出しにくくなってしまおうと思います。ただ、その一歩を踏み出せるかどうか、その後の自分の成長に影響してくると思います。</p> <p>生徒会長になったことで自分の成長をより感じられているとのことで、ぜひその経験を忘れずに、これからも積極的に様々なことに挑戦していきましょう。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>中学校生活において大きな行事の1つである立志式を通して、これまでの自分をふり返えることができ、自分の未来を改めて深く考えることができました。</p> <p>私は昔から努力することがあまり得意ではなく、努力すると心に決めるだけですぐ諦めてしまい、なかなか行動に移すことができない人でした。そのため、たくさんの「後悔」を経験してきました。</p> <p>私は、これからの人生で努力しなかったことを後悔しないような生き方ができるよう、頑張っていきたいと思います。</p>	<p>立志の宣言が自分自身と向き合い、これからのことを考える良い機会になったようですね。</p> <p>ご自身が経験された「後悔」をきっかけに、今度は「努力していこう」と思われているとのこと、反省を活かして次に取り組んでいこうとするその姿勢は、素晴らしいと思います。</p> <p>「努力」は、人生の様々な壁を乗り越えるために必要なものであり、将来の夢や目標を叶えるためにも無くてはならないものです。たとえ小さな「努力」であっても、それを1つ1つ積み重ねていくことで、やがて大きな成果につながると思います。</p> <p>また、「努力できること」は、その人にとって大きな強みとなります。今回の立志の宣言を胸に、これからも様々なことに励んでいてください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は自分の成長や挑戦の大切さについて考えました。</p> <p>小学校の吹奏楽部の副顧問の先生から教わった、「何事も挑戦」という言葉が私の心に強く響いています。挑戦することで得られる成長や喜びは、何物にも代えがたいものです。</p> <p>これから先、つらいことや苦しいことがあるかもしれませんが、諦めずに挑戦し続けようと思います。</p>	<p>今回の発表から、「何事にも挑戦していくんだ」という気持ちがとても強く伝わってきました。そして、そのきっかけとなったのが、小学校の吹奏楽部の先生に掛けていただいた言葉だったとのことで、素敵な言葉をいただきましたね。</p> <p>今年度の「中学生海外短期留学派遣」に参加されたとのことで、この事業に参加すると決めるにも、勇気がいったのではないかと思います。しかし、実際に現地を訪れて海外の文化に触れたことで、新しい発見や自分の成長につながったのではないかと思います。</p> <p>時には挑戦しても、結果につながらないことがあると思いますが、挑戦をした経験は自分の成長の糧に必ずなります。これからも先生からいただいた言葉を胸に、頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言を書き始めたとき、目標がありませんでした。そのため、まず今までの自分の人生について書いてみました。</p> <p>書いていく中で、私の人生には楽しいときと苦しいときがありました。その2つを比べてみて気付いたことは、「努力を止めてしまうと人生は暗くなる」というものでした。そのため、私はできるだけ楽しい人生を送るために、努力を続けられる人になることを目標として立志の宣言を書きました。</p> <p>私はまだ目標を達成できていませんが、難しく諦めてしまいたいと思ったとき、立志式で発表したことを思い出して頑張りたいです。</p>	<p>今回の立志式が、ご自身の今までの振り返りと、これからのことを考える良いきっかけとなったようですね。</p> <p>立志式では、「努力を続けられる人になる」という目標に加え、「周りの人を幸せにできる人になる」という目標も発表されたとのことですが、人を幸せにするためには、相手を思いやれる強さが必要になると思います。</p> <p>「まだその目標は達成できていない」とのこと、これから様々な経験を通じていろいろな力を付けていくと思います。たとえ失敗したことでも、その経験は必ず今後の力になるはずです。</p> <p>ぜひ今回の立志の宣言で感じたことや思ったことを忘れずに、今後も頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言で将来の夢の舞台女優になるにあたってどんな人になりたいか、そのために何が必要かも考えて話しました。</p> <p>立志の宣言をして、私は改めて幸せだと気付きました。なぜなら、私には近くに憧れる素敵な大人がいるからです。また夢を叶えるために、全力で応援してサポートしてくれる仲間たちもいます。そしてたくさん素晴らしい経験ができていることを、本当にありがたくて幸せなことだと思いました。</p> <p>これからも謙虚、笑顔、優しさを大切に、夢に向かって頑張ろうと思いました。</p>	<p>幼い頃からクラシックバレエを習われているとのこと、将来の夢に向かってすでに踏み出しているところだと思います。</p> <p>また、近くに憧れの人や、応援してくれる仲間たちもいるとのこと、これは本当に幸せなことだと思います。憧れの人が身近にいれば、自然とお手本にできますよね。「自分も同じようになれるように頑張りたい」と思えると思います。そして、こういった環境にいらっしやることは、自分の「強み」と言えると思います。</p> <p>ぜひ夢を叶えて、舞台上で活躍する姿を楽しみにしています。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は、将来の夢である保育士について話しました。立志式の作文を書く際、私には保育士になりたい理由がたくさんあることに気付かされ、その気持ちがより一層強くなりました。</p> <p>そして立志式を通して、私たちは「どういう人になりたいか」や「どんな職業に就きたいか」など、将来についてたくさん考えることができました。私は立志式が終わった後も将来について考える時間が増えたので、立志式は将来について深く考え始める良いきっかけになると思いました。</p> <p>さらに、自分の志を宣誓することで、夢に対して前向きに考えることもできるようになりました。</p>	<p>学校の職場体験でも保育園に行かれたとのことで、お子さんたちのお世話をする中で、将来保育士になるイメージがより具体的に湧いたのではないのでしょうか。</p> <p>また、「立志式が終わった後も将来について考える時間が増えた」とのことで、保育士になるためにやるべきことや頑張りたいことなどを見つけて、きっとこれからも前向きに進んでいけるのではないかと思います。</p> <p>立志式で発表して終わりではなく、今回立てた「こころざし」を忘れずに、この先も夢に向かって頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>宣言を書いたとき、僕は「愛」の大切さについて考えました。</p> <p>そこで自分は、人生において「愛」が一番まっすぐで、一番相手に伝わる気持ちであると考えました。</p> <p>だから僕は、これからの人生において「愛」を大切にしていきたいです。</p>	<p>「愛が一番まっすぐで、一番相手に伝わる気持ちだと思う」と発表していただき、本当にそのとおりだと思います。きっと身近の方からたくさん愛情を受けて育てられたからこそ、その大事さに気付くことができたのだと思います。</p> <p>人に何かを話すときも不愛想に言うのと、愛情をもってその人のために言うのとでは、きっと受け取り方が違うと思います。そしてその言葉を受け取った相手は、今度は愛のある言葉を自分に返してくれたり、またほかの人に愛をもって接したりすることができるかもしれません。</p> <p>ぜひ、これからも「愛」を忘れずに、大切にしていってほしいと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>僕が立志の宣言を書くとき、いまいち「立志」という言葉の意味がわかりませんでした。だから僕の書いた宣言は、少し的外れな内容かもしれません。</p> <p>ただ1つ、書いていて気付いたことがあります。それは「学問を続けていきたい」という自分の気持ちです。</p> <p>将来、どんな仕事をして学問を続けて、成長していける人になりたいです。</p>	<p>「立志」ってなかなか普段聞かない言葉ですよ。今回の立志式で、初めて「立志」という言葉を知った方も多いと思います。しかし今回の作文を通じて、「学問を続けていきたい」ということに気付いたというのは、素晴らしいことだと思います。</p> <p>「学生生活が終わったら、学びも終わる」と思っている人もいるかもしれません。確かに、「授業」という形の「学習」はしなくなるかもしれませんが、「学び」というものは私も「一生続くもの」だと思います。</p> <p>ぜひ今の気持ちを忘れずに、大きく成長できるようにこれからも頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は後悔しない選択をしていきたいと考え、10年後の自分に向けての作文を書き始めました。</p> <p>私は将来の夢を探している最中です。今後自分が夢を見つけたときに、どこかで迷ったり、諦めようとしたりすると考えました。しかしそんなときに、未来の自分に寄り添ってあげられるような作文にしたいと考えました。</p> <p>未来の自分が大きな壁にぶつかっても、一歩踏みだせるような言葉をたくさん考えて書きました。その言葉が、今後の選択をするときの後押しになったら良いと考えています。</p>	<p>「後悔しない選択をする」というのは、難しいことではありますがとても大事なことです。</p> <p>人生は選択の連続ですよ。 「ああすれば良かった」と思うことや、「ああしなければ良かった」と思うことは今までもあったと思いますし、これからもたくさんあると思います。</p> <p>しかし、そのときに「何となく」選択するのはなく、考え抜いて選択ができたのなら、たとえ失敗したとしても「次に生かそう」と思えたり、「たくさん考えた結果だから」と、後悔せずに納得できたりするのではないかなと思います。</p> <p>今はまだ「将来の夢を探している最中」とのことで、ぜひこれからいろいろな挑戦や経験をして、一歩ずつ自信を持って取り組んでいってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言を書いたとき、今の自分の努力、目標、足りていないことについて考えました。</p> <p>私は遅刻をすることが多いので、これからは遅刻をしないという目標を立てました。</p> <p>私は最近まで、家で勉強することがほぼありませんでした。しかし周りを見ると、皆やるべきことに一生懸命取り組んでいるところを見て、私は焦りを覚え、周りに追いつきたいと考えました。初めて勉強した結果、テストの点数を上げることができました。</p> <p>これからさらに努力を重ね、周りに追いついていきたいと思いました。</p>	<p>立志の宣言を通して、いろいろと自分で気付くことがあったようですね。3年生は受験もあると思いますので、今回立てた目標を大事にして、頑張ってください。</p> <p>また、周りの友達を見て「自分も追いつきたい」という気持ちを持ったとのことで、とても良いことだと思います。人の良い振る舞いを見習って、自分もそのような人になりたいと思って努力することは、大事なことです。そして、そのように思える人との出会いは、人生の宝であると思います。</p> <p>今後も少しずつでも良いので、ぜひ努力を積み重ねていってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>僕は、立志の宣言では将来の夢である看護師について話しました。</p> <p>僕が看護師を目指している理由は、小学生のときに大病を患い入院して、看護師の仕事の間近で見たからです。</p> <p>この宣言を書いているときに感じたことは、今当たり前前に過ごしているこの日常は、あって当然ではないと思いました。この経験があったから、今の僕があるのだと改めて感じました。</p> <p>これからも毎日を大切に生きていきたいです。</p>	<p>ご病気もつらかったと思いますが、友達と遊べないことや、家族とも離れることになってしまっ、とてもつらかったと思います。しかし、入院中に一生懸命お仕事をされている看護師さんを見て、「自分も将来なりたい」と思えることは、つらい思いをされている中ですごいことだと思います。</p> <p>また、「日常は、あって当たり前ではない」とのことで、本当にそのとおりだと思います。日常生活を送っていると、いろいろなことが当たり前前に思えてしまいますよね。しかし、立ち止まって考えると、自分の健康や家族や周りの人の支えがあってこそ、今の「日常」が過ごせているのだと思います。</p> <p>以前、入院されたことで患者さんとしての気持ちもわかるからこそ、看護師になったときに患者さんに寄り添うことができると思います。ぜひ夢に向かって、頑張ってください。</p>



令和6年度  
区長と語る会結果報告書

編集・発行 令和7年3月  
台東区総務部広報課  
令和6年度登録第84号

本文用紙は古紙配合率100%を使用しています。